

水浜水源地建築施設改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
改修 建築工事		
A-1	改修工事特記仕様書(1)	
A-2	改修工事特記仕様書(2)	
A-3	改修工事特記仕様書(3)	
A-4	改修工事特記仕様書(4)	
A-5	改修工事特記仕様書(5)	
A-6	改修工事特記仕様書(6)	
A-7	改修工事特記仕様書(7)	
A-8	改修工事特記仕様書(8)	
A-9	配置図・付近見取図	1:150
A-10	管理棟：既設仕上表	
A-11	管理棟：平面図(改修前・改修後)	1:100
A-12	管理棟：立面図(改修前・改修後)	1:100
A-13	管理棟：断面図1 (改修前・改修後)	1:60
A-14	管理棟：断面図2 (改修前・改修後)	1:60
A-15	配水池：1階平面図 (改修前・改修後)	1:100

[illegible][illegible]

[illegible]

3

防水改修工事

3

アスファルト防水

[3. 1. 4]

[3. 2. 6]

[3. 9. 2~3]

・乾式保護材

素業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

(品質・性能)

分類・規格	・素業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	・素業系 パネルⅡ類 (一般地仕様)	・金属複合板
寸法(mm)	厚さ(mm)		
幅(mm)			
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下		
曲げ強さ・曲げモジュール	標準時	450以上	300以上
(N・cm) (2m/50cmに おける単位幅10cmあた りの曲げモジュール)	凍結融解完了時 (試験サイクル数)	400以上 (300)	320以上 (200)
吸水率(%)	20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと		
耐衝撃性能	質量500g(素業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500g(素業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500g(素業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。
剛性(E×1)スパン40cm 幅30cmの中央曲げ時に、 荷重720Nの時、たわみ 4mm以下となる剛性	-	-	8000N・cm以上

(試験方法)

(1) 寸法の試験方法

(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めたパネルの厚さとする。

(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。測定項目については、100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(素業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)

(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。

(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試験)」に規定する塩化カルシウム又はJISK 1464「工業用乾燥機」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を画く。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。48時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)＝(L2－L1)／L1×100
ΔL：吸水による長さ変化率(%)
L1：乾燥時の標線間の長さ(mm)
L2：吸水時の標線間の長さ(mm)

(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「素業系サイディング」の空中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。
(素業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)-20±3℃の空气中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。

(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。
試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは記号(W1－1000又はW2－500)とする。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗材	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による	・
	・製造所の指定による			・製造所の指定による	・	
	・製造所の指定による			・製造所の指定による	・	
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による	・断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・製造所の指定による			・製造所の指定による	・	
	・製造所の指定による			・製造所の指定による	・	
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)・25mm		・製造所の指定による	・製造所の指定による	・断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・製造所の指定による			・製造所の指定による	・	
	・製造所の指定による			・製造所の指定による	・	

断気装置の種類及び設置数量

※アスファルトルーフィング種類製造所の指定による

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示

屋内防水

工法	種別	施工場所	備考
・P1E	・E-1		保護層 ・設ける ・設けない
・P2E	※E-2		・設けない

押え金物の材質及び形状寸法

※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

屋上排水溝・図示

4

改質アスファルトシート防水

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	高日射反射率 防水の適用[G]	備考		
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J3						
	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J2 ・AS-J4						断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J2 ・AS-J4						
・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・ASI-T1 ・ASI-J1	(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)・25mm		断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない 防水層 ・設ける ・設けない			
	・ASI-T1 ・ASI-J1				(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)・25mm		断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

断気装置の種類及び設置数量

※改質アスファルトシート製造所の指定による

押え金物

※改質アスファルト製造所の仕様による

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
・M3S	・S-F1 ・S-F2			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・S-M2 ・S-M3			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・S-M2 ・S-M3			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
・POSI ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2	(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格3種bに適合するもの (厚さ)・25mm		・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・SI-F2 ・SI-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・SI-M2			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	

ルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.2による

絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート

断気装置の種類及び設置数量

※ルーフィングシート製造所の指定による

既存防水下地がPCコンクリート部材の場合の処理

地処理 ・行う(工法) ・行わない

入隅部の増張り ・行う(S-F1、SI-F1の場合) ・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)

・適用しない

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗材	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
○S3X ○P2X	○X-1 ○X-2		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	○X-2		・	・	
	○X-1		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	
・L4X	※X-1 ・X-2		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・X-2		・	・	
・P1Y	※Y-2 ・		・	・	保護層 ・設ける ・設けない
	・		・	・	
・P2Y	※Y-2 ・		・	・	保護層 ・設ける ・設けない
	・		・	・	

断気装置の種類及び設置数量

※主材製造所の指定による

5

合成高分子ルーフィングシート防水

[3. 1. 4]

[3. 2. 6]

[3. 5. 2~4]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
・M3S	・S-F1 ・S-F2			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・S-F2 ・S-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・S-M2 ・S-M3			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・S-M2 ・S-M3			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
・POSI ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2	(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格3種bに適合するもの (厚さ)・25mm		・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・SI-F2 ・SI-M1			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	
	・SI-M2			・ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ ・ｼﾞｪﾙ	・	

ルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.2による

絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート

断気装置の種類及び設置数量

※ルーフィングシート製造所の指定による

既存防水下地がPCコンクリート部材の場合の処理

地処理 ・行う(工法) ・行わない

入隅部の増張り ・行う(S-F1、SI-F1の場合) ・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)

・適用しない

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗材	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
○S3X ○P2X	○X-1 ○X-2		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	○X-2		・	・	
	○X-1		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	
・L4X	※X-1 ・X-2		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・X-2		・	・	
・P1Y	※Y-2 ・		・	・	保護層 ・設ける ・設けない
	・		・	・	
・P2Y	※Y-2 ・		・	・	保護層 ・設ける ・設けない
	・		・	・	

断気装置の種類及び設置数量

※主材製造所の指定による

6

塗膜防水

[3. 1. 4]

[3. 2. 6]

[3. 6. 2~4]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
○S3X ○P2X	○X-1 ○X-2		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	○X-2		・	・	
	○X-1		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	
・L4X	※X-1 ・X-2		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない
	・X-2		・	・	
・P1Y	※Y-2 ・		・	・	保護層 ・設ける ・設けない
	・		・	・	
・P2Y	※Y-2 ・		・	・	保護層 ・設ける ・設けない
	・		・	・	

断気装置の種類及び設置数量

※主材製造所の指定による

7

ケイ酸質系塗布防水

[3. 1. 4]

[3. 2. 6]

[3. 6. 2~4]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
○S3X ○P2X	○X-1 ○X-2		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	断気装置 ・設ける ・設けない
	○X-2		・	・	
	○X-1		○ﾀｰｼﾞﾝｸﾞ	・	
・L4X					

[illegible]

5

11

建具
改修
工事

・クローザー類
(品質・性能)

区分
性能試験項目

①ドアクローザ

②ヒンジクローザ

③フロアヒンジ

性能試験項目

閉じ速度(秒)

温度依存性(℃)

ストローク力

バックチェック性能(秒)

耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)

マスターキー

センサーの種類

取付位置

駆動装置・制御装置

項目

動作電圧

適用使用周囲温度(℃)

電動機の焼損防止措置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

項目

動作電圧範囲

出力接点容量

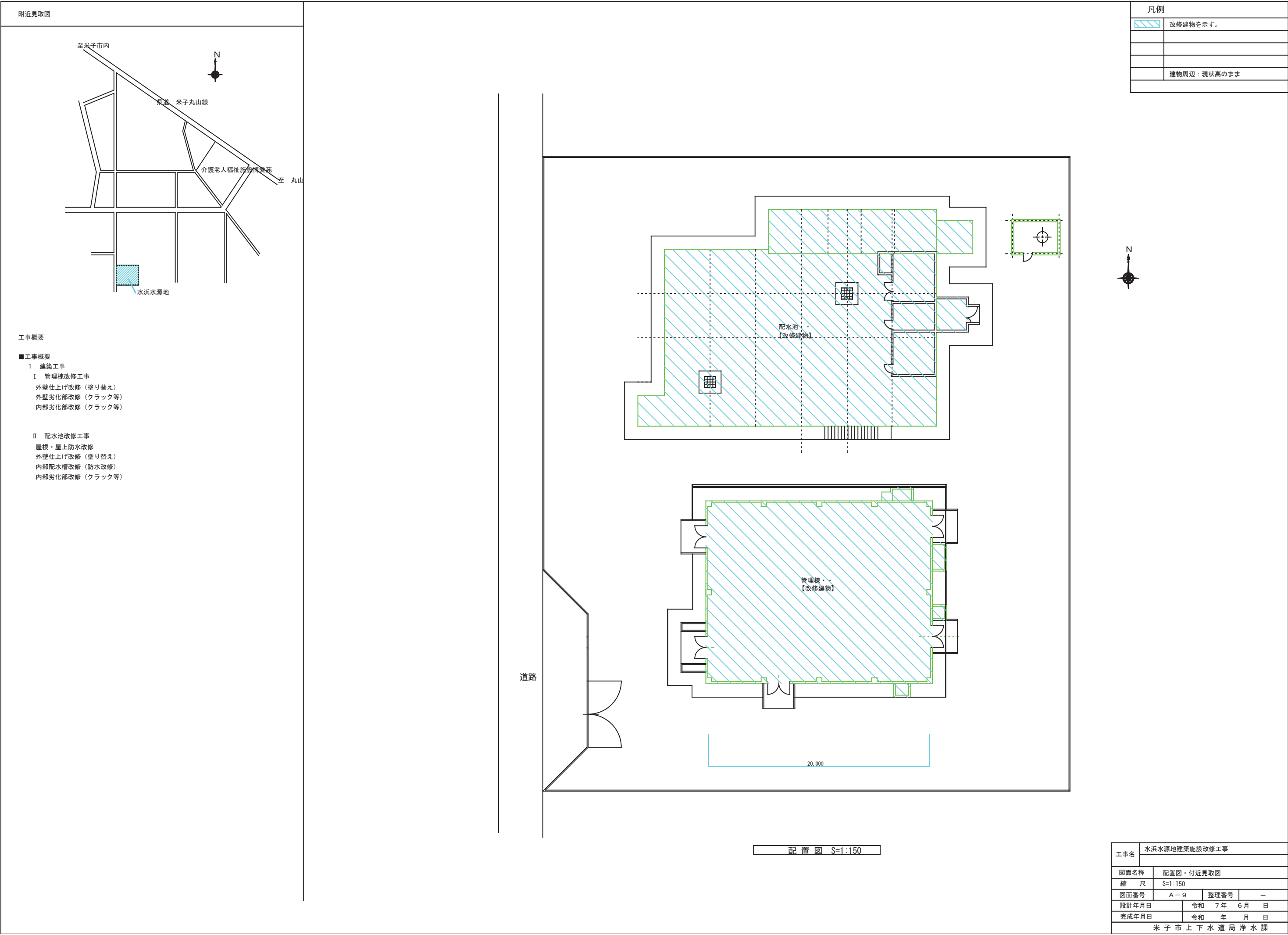
電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置(本体センサー、補助センサー)

<

[illegible]

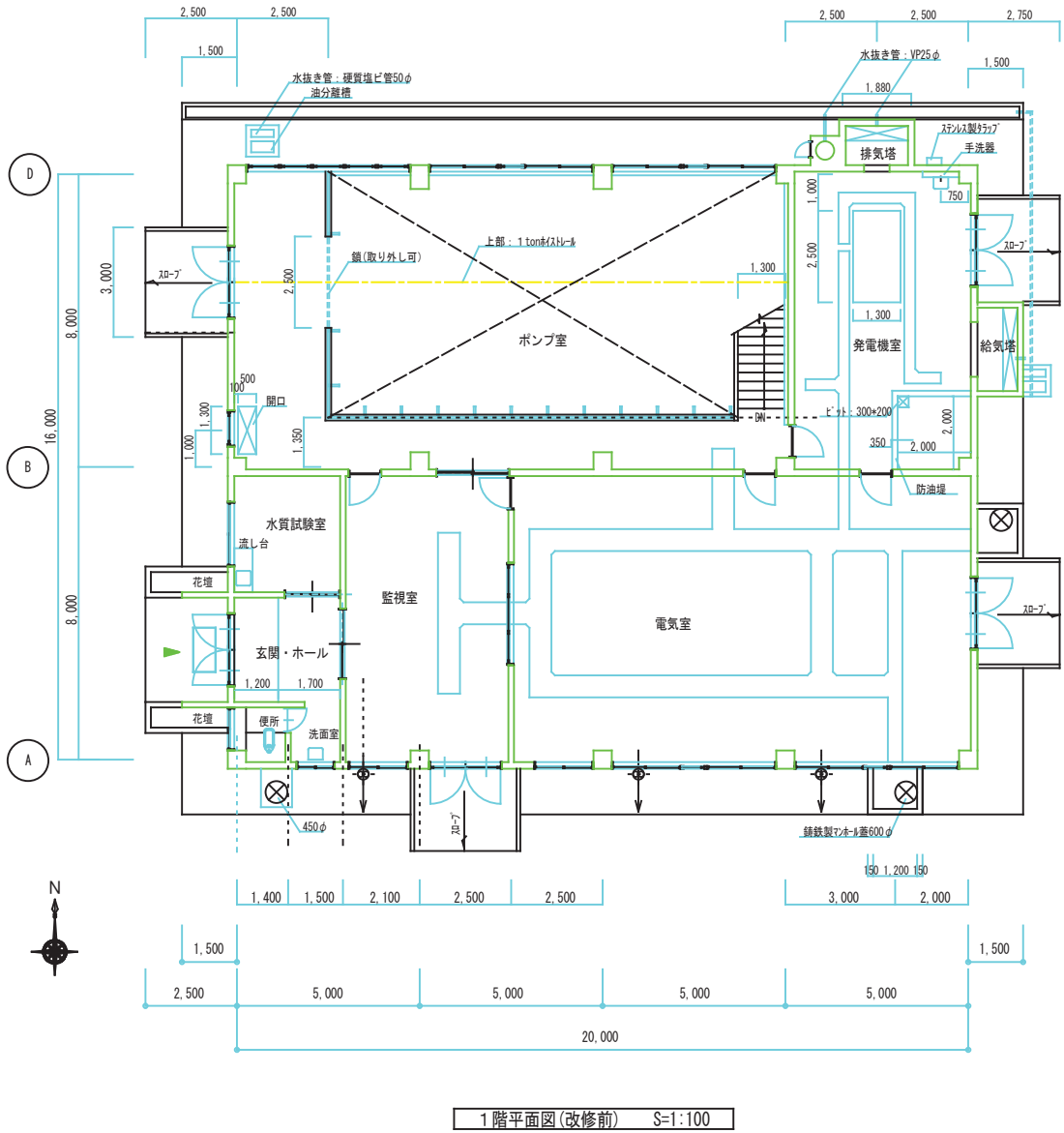
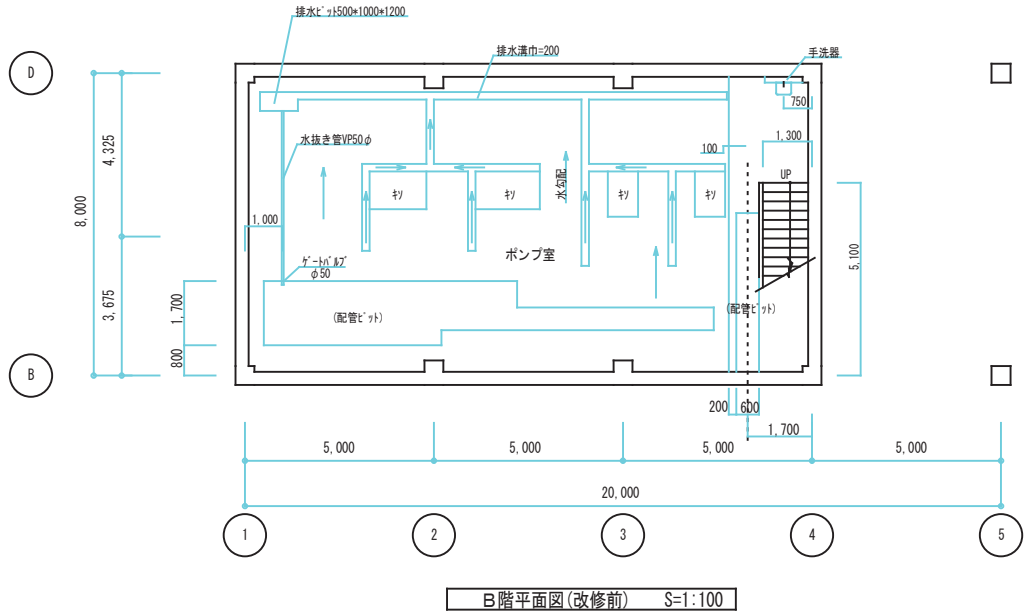
8 耐震改修工事 (共通事項)	1 適用範囲	・改修標準仕様書第8章耐震改修工事 ・改修標準仕様書第8章耐震改修工事以外の工事で第8章を引用している部分 工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨ブレースの設置工事 ・柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法） ・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き工法） ・柱補強工事（連続繊維補強工法） ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事	3 セメントの種類 [8. 2. 5]	<table><tr><th colspan="2">表 8. 2. 3</th></tr><tr><th>セメントの種類</th><th>使用 部 位</th></tr><tr><td>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</td><td></td></tr><tr><td>・高炉セメントB種 [5]</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く</td></tr><tr><td>水和熱</td><td>7日目 352 J/g以下 28日目 402 J/g以下</td></tr></table>	表 8. 2. 3		セメントの種類	使用 部 位	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種		・高炉セメントB種 [5]		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く		水和熱	7日目 352 J/g以下 28日目 402 J/g以下	4 骨材の種類 [8. 2. 5]	アルカリシリカ反応による区分 ※A ・B（※コンクリート中のアルカリ総量 R t = 3. 0 kg/m ³ 以下）	5 混和材料 [8. 2. 5]	※混和剤（JIS A 6204に適合するAE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。また、防錆材を併用する場合はJIS A 6205による防錆材とする。） ・混和材（JIS A 6201に適合するフライアッシュのI種、II種若しくはIV種、JIS A 6206による高炉スラグ微粉末、JIS A 6207によるシリカフューム又はJIS A 6202による膨張材とする。）	6 無筋コンクリート （6. 14. 1～3）	適用箇所 ・標準仕様書 6. 14. 1（e）による 設計基準強度F _c （N/mm ² ） スランプ セメントの種類 ・標準仕様書 6. 14. 1（e）による ※18 ※15又は18 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 [5]	8 溶接材料 （7. 2. 5）	・標準仕様書 7. 2. 5（a）（b）による ・図示による	9 ターンバックル （7. 2. 6）	種類 建築用ターンバックル鋼 ※割弁式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ※構造図による	10 デッキプレート （7. 2. 7）	工法の種類 ・合成スラブ（適用箇所 ・構造図による ・ ） ・床型特用（適用箇所 ・構造図による ・ ） 材質、形状及び寸法 ・構造図による 鉄骨部材への溶接方法 ・構造図による 耐火認定 ・有り（耐火時間 ・図示による ・ ） ・なし	11 スタッドボルト	※頭付スタッド（JIS B 1198） <table><tr><th>径（呼び名）</th><th>長さ（呼び長さ）mm</th><th>使用 箇 所</th></tr><tr><td>16φ</td><td>・80 ・100 ・120</td><td></td></tr><tr><td>19φ</td><td>・80 ・100 ・130 ・150</td><td></td></tr><tr><td>22φ</td><td>・80 ・100 ・130 ・150</td><td></td></tr></table>	径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	使用 箇 所	16φ	・80 ・100 ・120		19φ	・80 ・100 ・130 ・150		22φ	・80 ・100 ・130 ・150		12 柱底均しモルタル [8. 2. 11]	モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合 ※改修標準仕様書 8. 2. 11による	13 製作精度 [8. 12. 2]	・改修標準仕様書 8. 12. 2 による 通しダイヤフラムの許容誤差 ・ダイヤフラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・全てのダイヤフラムはH12建告第1464号第二号イ(2)に規定する仕様を満足すること	14 仮組 [8. 12. 9]	※行わない ・行う（適用範囲 ・構造図による ・ ）	15 高力ボルト接合	スプライスプレートの材質 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレートの材質 ※SS400とする	16 溶接接合 [8. 14. 4] [8. 14. 7]	開先の形状 ※構造関係共通事項（5） 3. 溶接継手の種類別開先標準 による ・構造図による スカラップの形状 ※構造関係共通事項（6） 5. 鉄骨溶接継手（3） による ・構造図による 鋼製エンドタブの切断する部分 ※全て ・（ ） 完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※（社）日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による エンドタブ・表あて金 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする	17 入熱バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項による ・図示 適用箇所 ※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・図示による	18 溶接部の試験 [8. 14. 11]	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない 工場溶接の場合 A O Q L ※ 4. 0 % ・ 2. 5 % <table><tr><th>箇所</th><th>※全て</th><th>・</th><th>・</th><th>・</th><th>・</th></tr><tr><td>検査水準</td><td>※第6水準</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 工事現場溶接の場合 A O Q L ※ 4. 0 % ・ 2. 5 % 割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査 独立行政法人建築研究所監修 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・抜き取り検査1 ※抜き取り検査2	箇所	※全て	・	・	・	・	検査水準	※第6水準	・	・	・	・	19 耐火保護 [8. 17. 2]	種類 <table><tr><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>適用 箇 所（部位・部分）</th></tr><tr><td>・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材表付け</td><td>・高耐火ロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 <table><tr><th>性能</th><th>適用 箇 所（部位・部分）</th></tr><tr><td>・30分耐火</td><td></td></tr><tr><td>・1時間耐火</td><td></td></tr><tr><td>・2時間耐火</td><td></td></tr><tr><td>・3時間耐火</td><td></td></tr></table>	種類	材料・工法	適用 箇 所（部位・部分）	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール		・	・		・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		・耐火材表付け	・高耐火ロックウール		・	・		性能	適用 箇 所（部位・部分）	・30分耐火		・1時間耐火		・2時間耐火		・3時間耐火		20 建方精度 （7. 10. 2）	※（社）日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」 付表「工事現場」による	21 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 （7. 2. 4） （7. 10. 3）	構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による 建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法 表 7. 10. 1 種類 ・A種 ・B種 ・C種 表 7. 10. 2 ※標準仕様書 表 7. 10. 2（※A種【モルタル厚さ50】 ・B種【モルタル厚さ30】）による	22 錆止め塗装 [8. 16. 3]	塗料の種類 重防めつき鋼面の錆止め塗料 ※標準仕様書 表 18. 3. 2のA種 ・E P - Gの適用箇所は標準仕様書 表 18. 3. 2のC種 耐火保護材の接着する面への塗装 ・行う 適用箇所 ※構造図による 塗料の種類 ※構造図による ※行わない	8 あて施工アンカー工事	23 溶融亜鉛めっき工法 （7. 12. 1～6）	種別等 <table><tr><th colspan="2">表 14. 2. 2</th></tr><tr><th>亜鉛めっきの種別</th><th>材料</th></tr><tr><td>A種（H0755）</td><td>最小板厚 6. 0mm 以上の形鋼、鋼板</td></tr><tr><td>B種（H0745）</td><td>最小板厚 3. 2mm 以上、6. 0mm 未満の形鋼、鋼板</td></tr><tr><td>C種（H0735）</td><td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類</td></tr><tr><td></td><td>最小板厚 1. 6mm 以上、3. 2mm 未満の形鋼、鋼板</td></tr></table>	表 14. 2. 2		亜鉛めっきの種別	材料	A種（H0755）	最小板厚 6. 0mm 以上の形鋼、鋼板	B種（H0745）	最小板厚 3. 2mm 以上、6. 0mm 未満の形鋼、鋼板	C種（H0735）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類		最小板厚 1. 6mm 以上、3. 2mm 未満の形鋼、鋼板	1 あて施工アンカー [8. 2. 4]	引張耐力 ・せん断耐力 ・金属拡張アンカー 本 体 ダボ筋 <table><tr><th>径（mm）</th><th>埋込み深さ（mm）</th><th>セット方式</th><th>種類</th><th>径（mm）</th><th>長さ（mm）</th></tr><tr><td></td><td></td><td>本体打ち込み式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>〃</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※接着系アンカー <table><tr><th>径（mm）</th><th>埋込み深さ（mm）</th><th>接着剤の材質</th><th>カプセルの種類</th><th>アンカー筋の種類</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	径（mm）	埋込み深さ（mm）	セット方式	種類	径（mm）	長さ（mm）			本体打ち込み式						〃				径（mm）	埋込み深さ（mm）	接着剤の材質	カプセルの種類	アンカー筋の種類											2 穿孔前の埋込配管等の検査 [8. 11. 2]	検査範囲 ※あて施工アンカー施工部全て 検査方法 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる	3 あて施工アンカーの試験 [8. 2. 4] [8. 11. 4] （14. 1. 3）	性能確認試験 ※行わない ・行う 施工確認試験 ・行う ・行わない 確認強度 ・構造図による	4 シアコネクタ [8. 7. 9]	・金属拡張系アンカー 適用箇所 ※構造図による ・接着系アンカー 適用箇所 ※構造図による	5 施工管理技術者 [8. 11. 1]	（社）日本建築あて施工アンカー協会が定める「あて施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする	8 5 グラウト工事	1 構造体用モルタル [8. 2. 6] [8. 2. 11]	・改修標準仕様書 8. 2. 6 による <table><tr><th>圧縮強度（N/mm²）</th><th>フロー値（秒）</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> ・改修標準仕様書 8. 2. 11 による	圧縮強度（N/mm ² ）	フロー値（秒）			2 グラウト材 [8. 2. 11]	無収縮グラウト材の材質等 セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンステンション Jフーリーによる落下時間 8 ± 2 秒 フリージング 凝り混ぜ2時間後のフリージング率 2. 0 % 以下 凝結時間 凝結開始時間 1 時間以内 凝結時間 凝結時間 1. 0 時間以内 無収縮性 材齢 7 日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3 日 2. 0 N / mm ² 以上 材齢 28 日 4. 0 N / mm ² 以上 塩化物量 0. 3 0 kg / m ³ 以下 試験方法 1）WMO試験方法 試験法 3 12 - 1 9 9 9「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。 2）塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	3 柱底等の均しモルタル [8. 2. 11]	無収縮モルタル材 ・使用する ・使用しない	8 6 連続繊維補強工事	1 連続繊維補強工事 [8. 21. 1]	連続繊維補強工法 ※連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計施工指針第4章補強工事の施工による工法又は同等の性能を有する工法	2 連続繊維シート [8. 2. 12] [8. 21. 7]	連続繊維の材料 炭素繊維 ・アラミド繊維 連続繊維の材質 引張強度（含浸硬化後） ・（ ） N / mm ² ・ ヤング係数（含浸硬化後） ・（ ） N / mm ² ・ 繊維目付量 ・（ ） g / m ² ・ シート厚さ ・（ ） mm ・ シート貼り方向 ※図示 定着方法 ※図示 含浸接着樹脂 ・低臭型 ・ プライマー ・低臭型 ・ 下地処理 仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 下地処理の範囲 ※図示 下地処理の程度 ※図示 柱の隅角部の面取り 箇所 ※図示 大きさ ※図示 下地調整 ※行う ひび割れ部改修 ・行う ・行わない 種類及び部位 ※図示 引張強度試験 ・行う ・行わない ※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による 試験数量 ※図示 付着強度試験 ・行う ・行わない ※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による 試験数量 ※図示	8 2 コンクリート工事	1 コンクリートの種類及び強度 [8. 1. 3～4]	※普通コンクリート 設計基準強度 F _c （N/mm ² ） 気乾単位容積質量（t / m ³ ） スランプ（cm） 適用場所 ※ 2. 1 2. 3 程度 ※ 15 ・ 18 （基礎、基礎梁、土間スラブ） ・ 2. 4 ・ ※ 18 （基礎、基礎梁、土間スラブ以外） ・ 18 2. 3 程度 ※ 15 ・ 18	2 レディーミストコンクリート [8. 1. 3]	※I類（JIS A 5308「レディーミストコンクリート」に適合） ・II類 表 8. 1. 1	米子市上下水道局浄水課
	表 8. 2. 3																																																																																																																																																																																							
セメントの種類	使用 部 位																																																																																																																																																																																							
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種																																																																																																																																																																																								
・高炉セメントB種 [5]																																																																																																																																																																																								
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く																																																																																																																																																																																								
水和熱	7日目 352 J/g以下 28日目 402 J/g以下																																																																																																																																																																																							
径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	使用 箇 所																																																																																																																																																																																						
16φ	・80 ・100 ・120																																																																																																																																																																																							
19φ	・80 ・100 ・130 ・150																																																																																																																																																																																							
22φ	・80 ・100 ・130 ・150																																																																																																																																																																																							
箇所	※全て	・	・	・	・																																																																																																																																																																																			
検査水準	※第6水準	・	・	・	・																																																																																																																																																																																			
種類	材料・工法	適用 箇 所（部位・部分）																																																																																																																																																																																						
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																																																																																																																																																							
・	・																																																																																																																																																																																							
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																							
・耐火材表付け	・高耐火ロックウール																																																																																																																																																																																							
・	・																																																																																																																																																																																							
性能	適用 箇 所（部位・部分）																																																																																																																																																																																							
・30分耐火																																																																																																																																																																																								
・1時間耐火																																																																																																																																																																																								
・2時間耐火																																																																																																																																																																																								
・3時間耐火																																																																																																																																																																																								
表 14. 2. 2																																																																																																																																																																																								
亜鉛めっきの種別	材料																																																																																																																																																																																							
A種（H0755）	最小板厚 6. 0mm 以上の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																																							
B種（H0745）	最小板厚 3. 2mm 以上、6. 0mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																																							
C種（H0735）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類																																																																																																																																																																																							
	最小板厚 1. 6mm 以上、3. 2mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																																							
径（mm）	埋込み深さ（mm）	セット方式	種類	径（mm）	長さ（mm）																																																																																																																																																																																			
		本体打ち込み式																																																																																																																																																																																						
		〃																																																																																																																																																																																						
径（mm）	埋込み深さ（mm）	接着剤の材質	カプセルの種類	アンカー筋の種類																																																																																																																																																																																				
圧縮強度（N/mm ² ）	フロー値（秒）																																																																																																																																																																																							



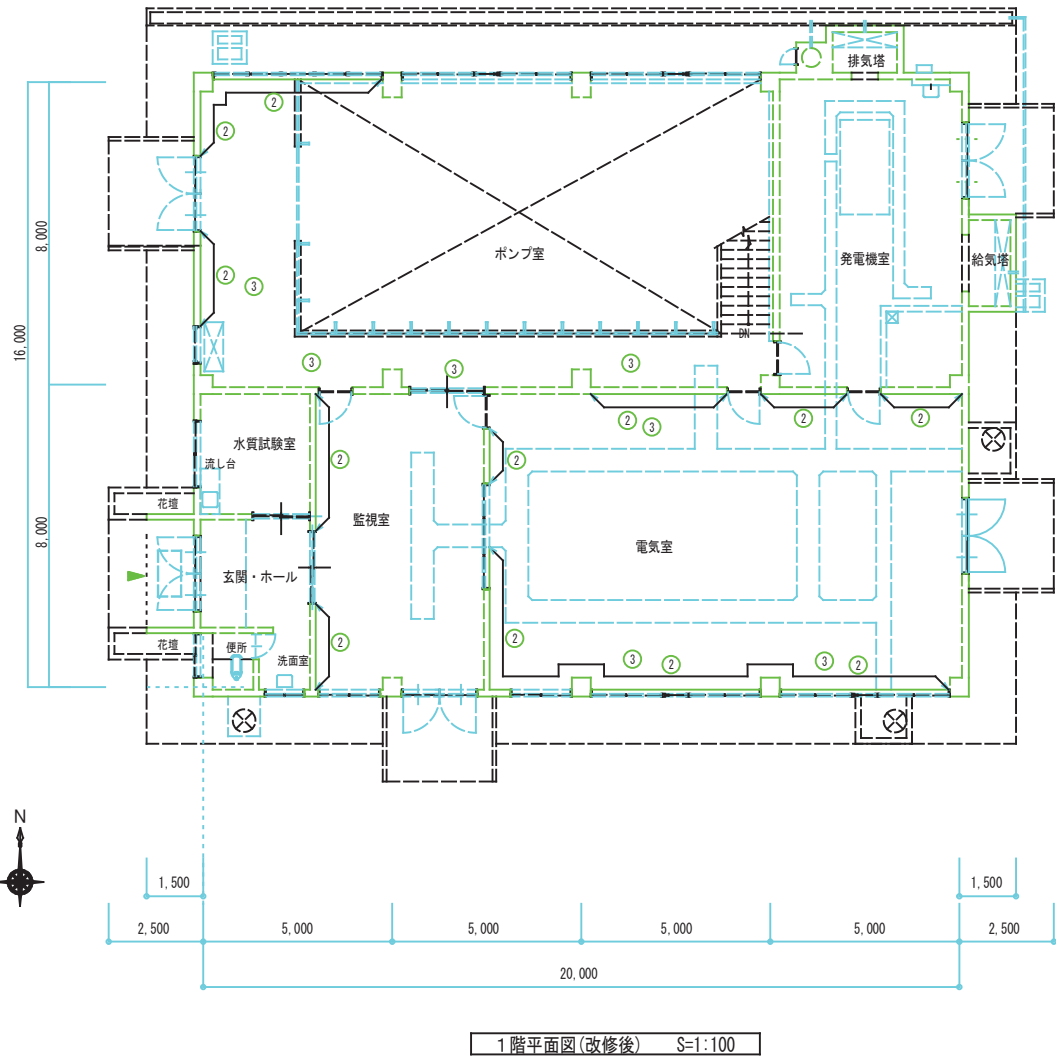
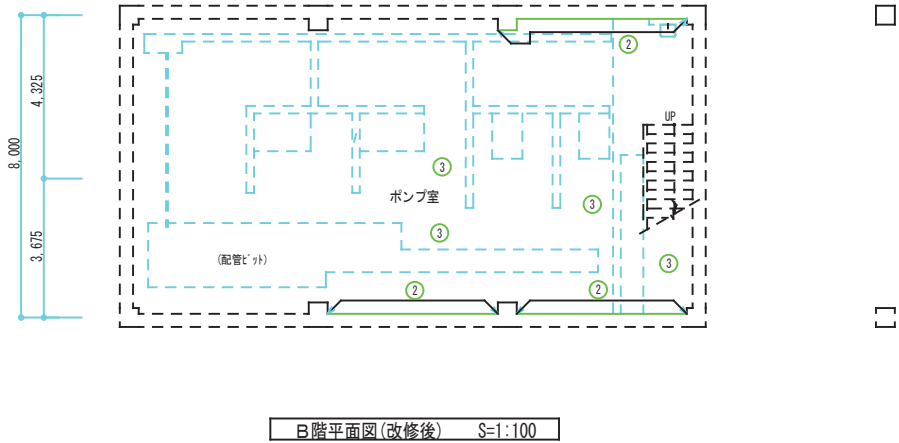
既 設 屋 外 仕 上 表			
屋根	コンクリートの上 シート防水露出 7 1.5 一部(庇部)：水勾配均し鉄板 7 20～60 給排水塔屋根：防水鉄板金釘	堅礎	硬質塩ビ管100φ 0.P
パラペット笠木	7㎜製笠木-巾=190 7 2.0 給排水塔部：7㎜製笠木-巾=190 7 2.0 煙突・給排水塔・玄関庇廻り：7㎜製水切-巾=50 7 1.4	玄関屋根	水勾配鉄板 7 20～50の上シート防水露出 7 1.5
外壁	鉄板刷毛引エマルジョン吹付 化粧目地切 鉄板室地下外壁廻り：コンクリート打放しの上塗膜防水塗り	軒天	コンクリート打放し(B)エマルジョン吹付 玄関：軽鉄下地 塩ビ鋼板パンドル 7 0.4張り
外巾木	鉄板金釘 H=150	金物	タッパ：ステンレス製(SUS304 釘骨付) 巾=400
玄関ポーチ	磁器質100角鉄板張り 7㎜製沓拭きマット(枠：ステンレス製SUS304) 600×1,200	煙突	【外壁】：鉄板刷毛引エマルジョン吹付 笠木：ステンレスSUS304 7 2.0 ステンレス格子 (SUS304) ステンレス製天板 7 2.0(SUS304) 【内部】：円型空洞型枠300φ 石棉成形パイプ 円径324φ 7 50 床：鉄板金釘 水抜き管VP25φ
犬走り	鉄板金釘	側溝	構内：水勾配 (鉄板)
スロープ	鉄板金釘鉄板引き 立上り袖：鉄板金釘	ハンドホール	【外部】：防水鉄板 鋳鉄製マホー蓋600φ(防水型) 2ヶ所 【内部】床：コンクリート打押え 壁・天井：コンクリート打放し タタキ鋳鉄製φ19 巾=300
ルーフトレン	鋳鉄製堅型ルーフトレン100φ(6ヶ所)	その他	天井表換気孔VP50φ(防虫網付) 鋳鉄製マホー蓋450φ(防臭型) 1ヶ所 発電機基礎下：チューム管800φ2ヶ所(管内無筋コンクリート充填)

既 設 屋 内 仕 上 表												
階	室名	床	巾木	H	腰壁	H	壁	柱型	天井	CH	梁型	備考
1階	ポンプ室(歩廊部)	表面強化剤入り 鉄板金釘 7 30	鉄板金釘V.P	100	鉄板金釘E.P	1,200	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	木毛セメント板 7 25打込セメント砂壁状吹付(白セメント)	スラブ下	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	鋼製手摺(控柱及び鎖付) 0.P 天花板プレート蓋 110㎜(スリール(1-250×125×25) 室名札(3ヶ所)
	発電機室	同上	同上	200	同上	1,200	軽量鉄骨下地有孔付強化鉄板 7 6E.P -(タタキ鉄板 7 50×32K裏打)-----	同上	タタキ成型板 7 25×32K(ヒン止め)	スラブ下	同上	配線ビニル蓋：天花板プレート蓋受枠 防油堤内：防水鉄板金釘 室名札(2ヶ所) 基礎立上り：コンクリート打放し 床：コンクリート金釘
	玄関ホール	磁器質100角鉄板張り(無袖)一部無筋コンクリート打の上鉄板金釘ビニル床鉄板 7 2.張り	タタキV.Pロウ 7 20一部ビニル巾木	100			鉄板金釘E.P		タタキ吸音板 7 12(石膏ボード 7 9捨張り)	2,800		上り框：ステンレスSUS304 7 1.5 天井点検口1ヶ所 室名札(3ヶ所)
	水質試験室	磁器質100角鉄板張り(無袖)	磁器質100角鉄板張り(無袖)	100			同上		同上	2,400		ステンレス流し台1200×550×800㎜(既製品) タタキ及びタタキボックス
	監視室	無筋コンクリート打 7 270 鉄板金釘下地ビニル床鉄板 7 2	ビニル巾木	100			同上	鉄板金釘E.P	同上	3,000		天花板プレート蓋蓋受枠 天井点検口2ヶ所 (454口ステンレス製) 室名札(2ヶ所)
	電気室	無筋コンクリート打 7 270 鉄板金釘防塵塗料塗り	鉄板金釘V.P	100	鉄板金釘E.P	1,200	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	木毛セメント板 7 25打込セメント砂壁状吹付(白セメント)	スラブ下	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	天花板プレート蓋蓋受枠 室名札(3ヶ所)
	便所	磁器質タタキ鉄板 25角張り(無袖)					陶器質100角鉄板張り(無袖)	陶器質100角鉄板張り(無袖)	化粧石膏ボード 7 9	2,500		膳板：タタキV.Pロウ 7 25×330 天井点検口1ヶ所
	洗面室	無筋コンクリート打の上 鉄板金釘ビニル床鉄板 7 2 張り	ビニル巾木	100			鉄板金釘E.P		同上	2,400		膳板：タタキV.Pロウ 7 25×330 鉄板 天井点検口1ヶ所
	給排水塔	コンクリート打押え	コンクリート打放し(B)	230			タタキ成型板 7 25×32K(ヒン止め)		タタキ成型板 7 25×32K(ヒン止め)	スラブ下		隔板：ALC板 7 100 ALC板受け金物：L-65×65×6
B階	ポンプ室	無筋コンクリート下地表面強化剤入り 鉄板金釘 7 30	鉄板金釘V.P	100	鉄板金釘E.P	1,200	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)	スラブ下	コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%) 一部 鉄板金釘E.P	排水溝蓋：タタキ 配管ヒートタタキ 配線ビニル蓋：天花板プレート蓋 7 4.5 樓梯基礎立上り：コンクリート打放し 床：コンクリート金釘
その他	階段	鉄板金釘	鉄板金釘V.P	100			(タタキ)鉄板金釘E.P		(階段裏)コンクリート打放し(B)合成樹脂エマルジョン砂壁状吹付(95%)			ステンレスノンスリップ 巾35(ゴム入) 手摺：鋼製手摺H=900 0.P

工事名	河岡水源池建築施設改修工事				
図面名称	管理棟既設仕上表				
縮 尺					
図面番号	A－10		整理番号	－	
設計年月日	令和 7 年 6 月		日		
完成年月日	令和 年 月		日		
米子市上下水道局浄水課					



現 状		改 修 内 容	
①	石膏ボード厚12mm地下ビニール貼り	劣化部分	ウレタン可とう性球状充填ノ上シーリングビニールクロス貼り
②	モルタル鏝押え AEP	劣化部分	ウレタン可とう性球状充填ノ上シーリング仕上げ塗装
③	モルタル鏝押え	劣化部分	ウレタン可とう性球状充填ノ上シーリング

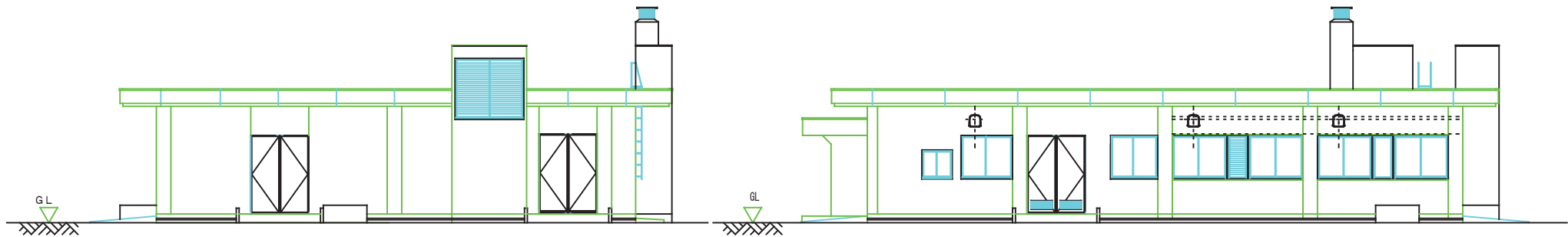


改修内容及び参考数量 (全体)			
防水改修			
外壁改修			
シーリング撤去		267.0	m
外壁改修 管理棟			
施工数量調査	外壁面積	315.0	m ²
外壁洗浄	高圧洗浄(30~50Mpa)	315.0	m ²
ひび割れ部改修	ウレタン充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	アクリル樹脂注入・注入口付部分球状樹脂 16穴/m ²	6.3	m ²
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コーティング(C-1)	315.0	m ²
サッシ周リシーリング	変性シリコン(MS-2) 20×10	152.0	m
目地シーリング	変性シリコン(MS-2) 20×10	115.0	m
軒天塗替え	吹付仕上げ 下地調整 可とう形外装塗材E コーティング(C-1)	94.0	m ²
軒天地下調整	高圧洗浄(30~50Mpa)	94.0	m ²
スチール扉調整費	SD2:両開きスチール扉	1.0	ヶ所
内部改修			
改修 管理棟			
ひび割れ部改修	ウレタン充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	アクリル樹脂注入・注入口付部分球状樹脂 16穴/m ²	6.3	m ²
塗装改修			
内部塗装			
仕上げ塗材塗	EP-G (素地)	139.0	m ²

管理棟防水：平成27年度に改修済み。

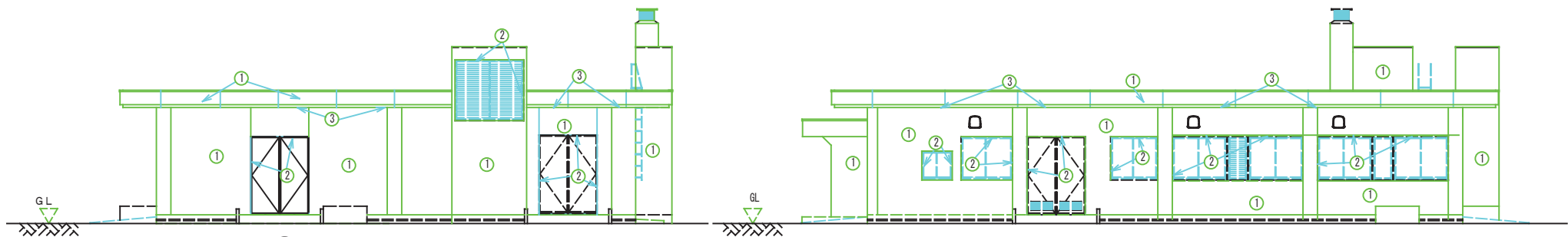
SD2
両開きスチール扉の閉鎖調整
W2,000H2,700

工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	管理棟：平面図【改修前・改修後】		
縮 尺	S = 1:100		
図面番号	A-11	整理番号	-
設計年月日	令和 7 年 6 月 日	完成年月日	令和 年 月 日
米子市上下水道局浄水課			



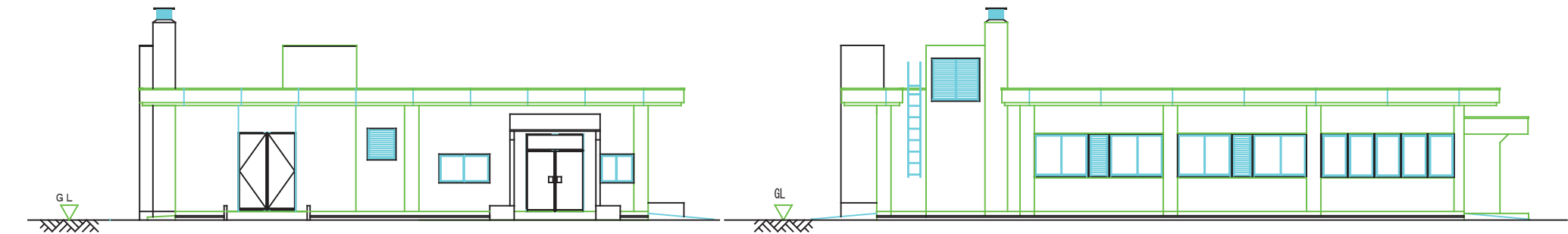
東側立面図(改修前) S=1:100

南側立面図(改修前) S=1:100



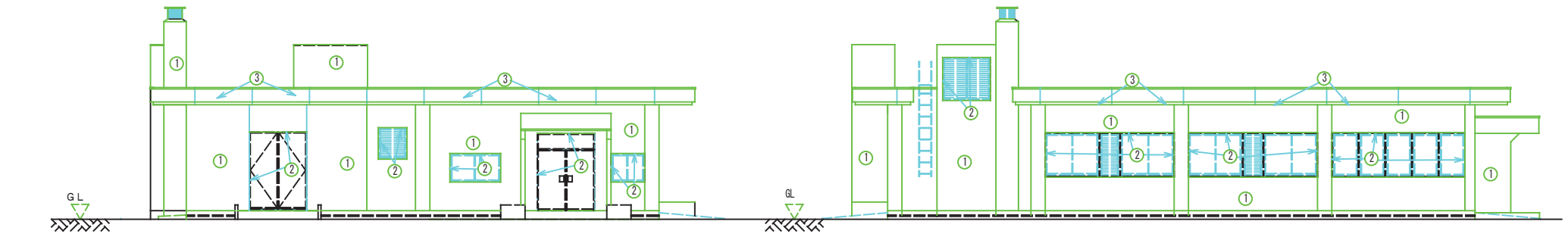
東側立面図(改修後) S=1:100

南側立面図(改修後) S=1:100



西側立面図(改修前) S=1:100

北側立面図(改修前) S=1:100



西側立面図(改修後) S=1:100

北側立面図(改修後) S=1:100

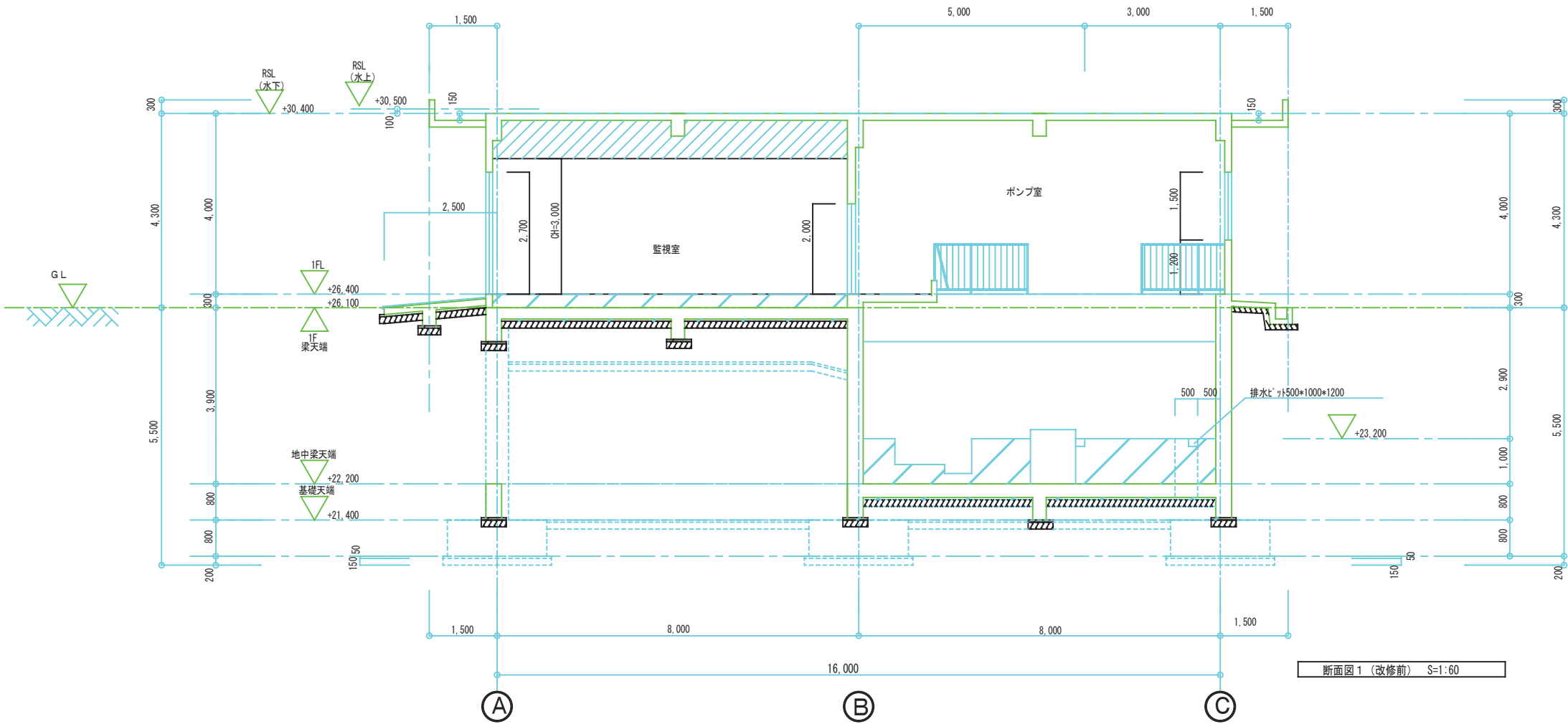
- 外壁改修
- ① ひび割れ部改修 ウルトラシリル充填 浮き部改修 アナバーニング樹脂注入
注入口付部分珪砂樹脂 16穴/㎡
- 外壁洗浄 高圧洗浄 (30~50Mps)
- 外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)
- ② シーリング 変性シリコン(MS-2) 20*10
- ③ 軒天塗替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)
- 軒天下地調整 高圧洗浄 (30~50Mps)

改修内容及び参考数量 (全体)

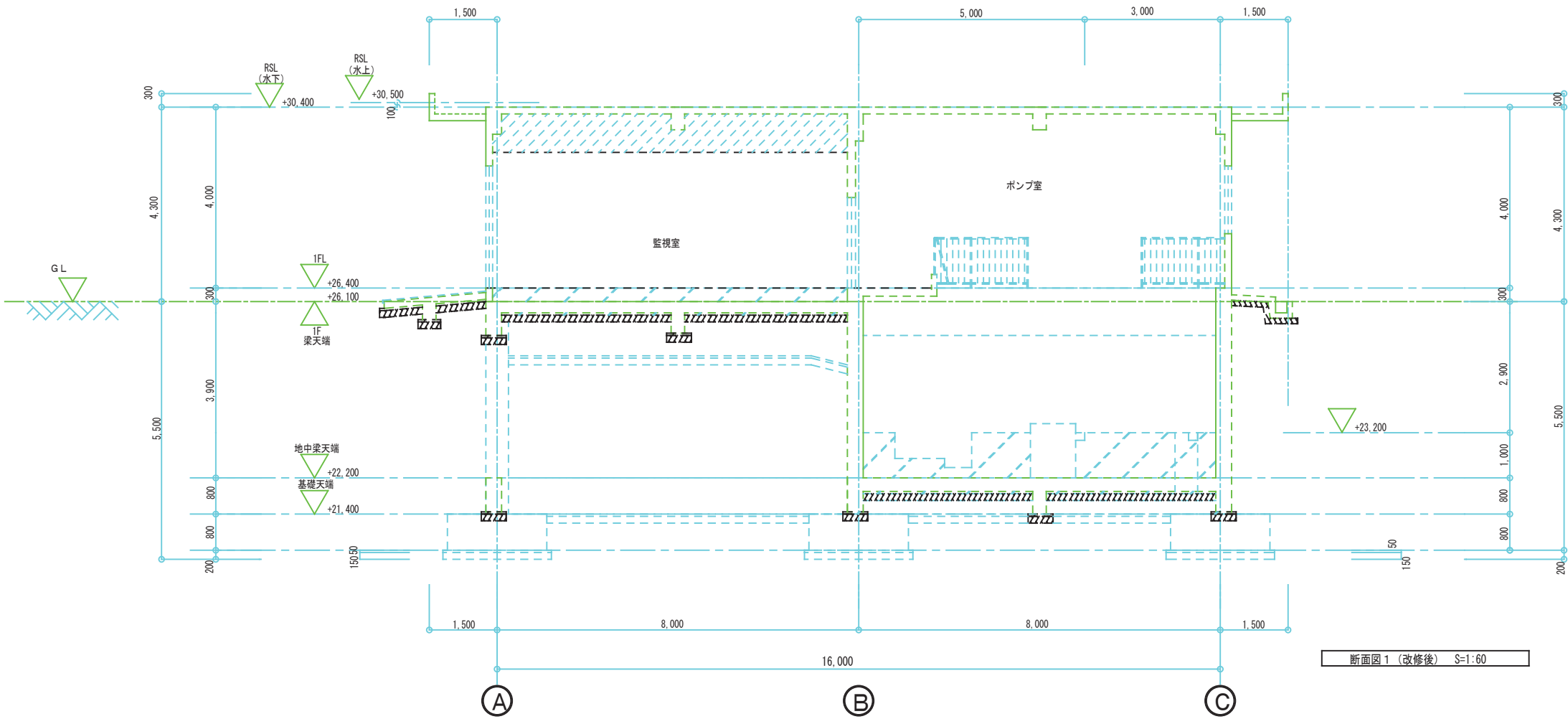
防水改修			
外壁改修			
シーリング 撤去		267.0	m
外壁改修 管理棟			
施工数量調査	外壁面積	315.0	㎡
外壁洗浄	高圧洗浄 (30~50Mpa)	315.0	㎡
ひび割れ部改修	ウルトラシリル充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	アナバーニング樹脂注入・注入口付 部分珪砂樹脂 16穴/㎡	6.3	㎡
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)	315.0	㎡
サッシ周リシーリング	変性シリコン(MS-2) 20*10	152.0	m
目地シーリング	変性シリコン(MS-2) 20*10	115.0	m
軒天塗替え	吹付仕上げ 下地調整共 可とう形外装薄塗材E コンクリート(C-1)	94.0	㎡
軒天下地調整	高圧洗浄 (30~50Mpa)	94.0	㎡
スチール扉調整費	SD2 : 両開きスチール扉	1.0	ヶ所
内部改修			
改修 管理棟			
ひび割れ部改修	ウルトラシリル材充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	アナバーニング樹脂注入・注入口付 部分珪砂樹脂 16穴/㎡	6.3	㎡
塗装改修			
内部塗装			
仕上り塗材塗	EP-G (素地)	139.0	㎡

管理棟防水：平成27年度に改修済み。

工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	管理棟：立面図【改修前・改修後】		
縮尺	S = 1:100		
図面番号	A-12	整理番号	-
設計年月日	令和 7 年 6 月 日		
完成年月日	令和 年 月 日		
米子市上下水道局浄水課			



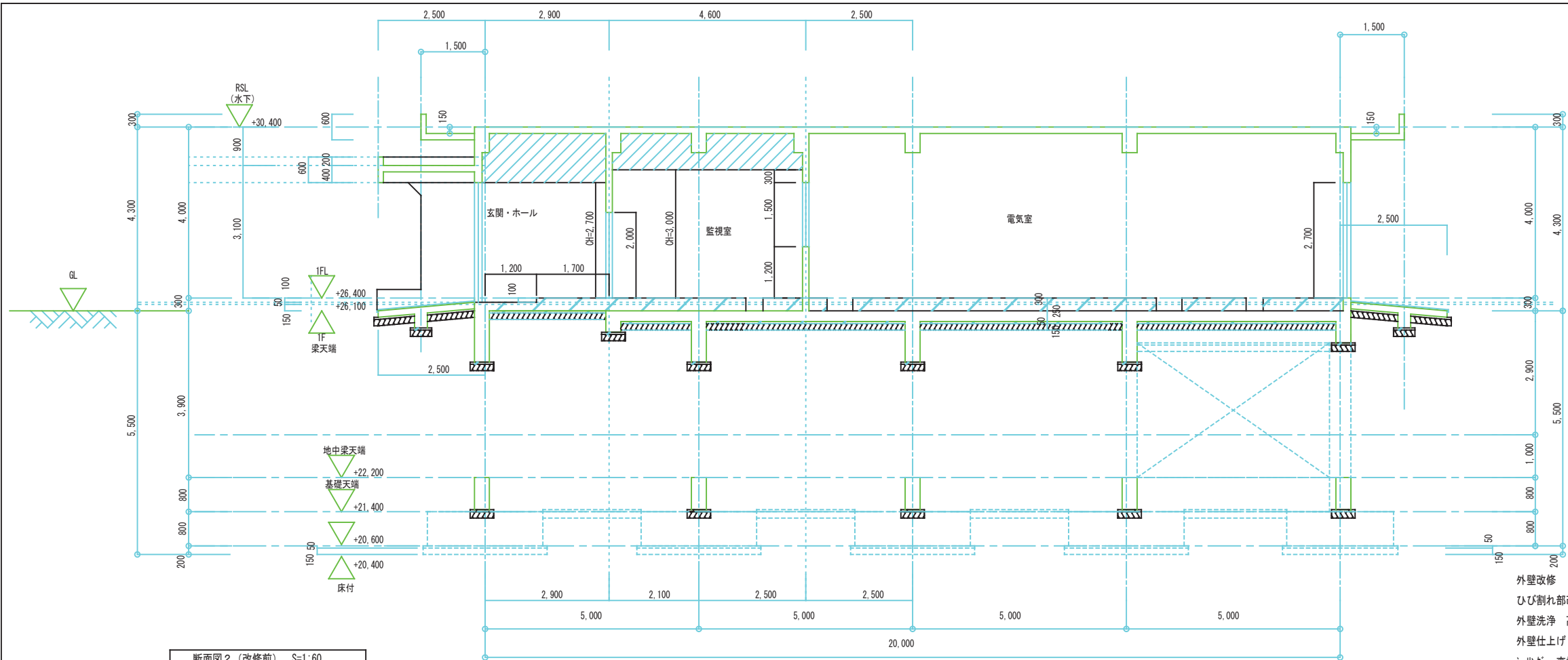
- 外壁改修
- ひび割れ部改修 Uカット・充填 浮き部改修 フォービニグ樹脂注入 注入口付部分珪矽樹脂 16穴/㎡
- 外壁洗浄 高圧洗浄 (30～50Mpa)
- 外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コングリート(C-1)
- シーリング 変性シリコン(MS-2) 20×10
- 軒天替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コングリート(C-1)
- 軒天下地調整 高圧洗浄 (30～50Mpa)



改修内容及び参考数量 (全体)			
防水改修			
外壁改修			
シーリング 撤去		267.0	m
外壁改修 管理棟			
施工数量調査	外壁面積	315.0	㎡
外壁洗浄	高圧洗浄 (30～50Mpa)	315.0	㎡
ひび割れ部改修	Uカット・充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	フォービニグ樹脂注入・注入口付部分珪矽樹脂 16穴/㎡	6.3	㎡
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コングリート(C-1)	315.0	㎡
サッシ周リシーリング	変性シリコン(MS-2) 20×10	152.0	m
目地シーリング	変性シリコン(MS-2) 20×10	115.0	m
軒天替え	吹付仕上げ 下地調整 可とう形外装塗材E コングリート(C-1)	94.0	㎡
軒天下地調整	高圧洗浄 (30～50Mpa)	94.0	㎡
スチール扉調整費	SD2 : 両開きスチール扉	1.0	ヶ所
内部改修			
改修 管理棟			
ひび割れ部改修	Uカット・材充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	フォービニグ樹脂注入・注入口付部分珪矽樹脂 16穴/㎡	6.3	㎡
塗装改修			
内部塗装			
仕上げ塗材塗	EP-G (系地)	139.0	㎡

管理棟防水：平成27年度に改修済み。

工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	管理棟：断面図1【改修前・改修後】		
縮 尺	S = 1:60		
図面番号	A-13	整理番号	—
設計年月日	令和 7 年 6 月 日		
完成年月日	令和 年 月 日		
米子市上下水道局浄水課			

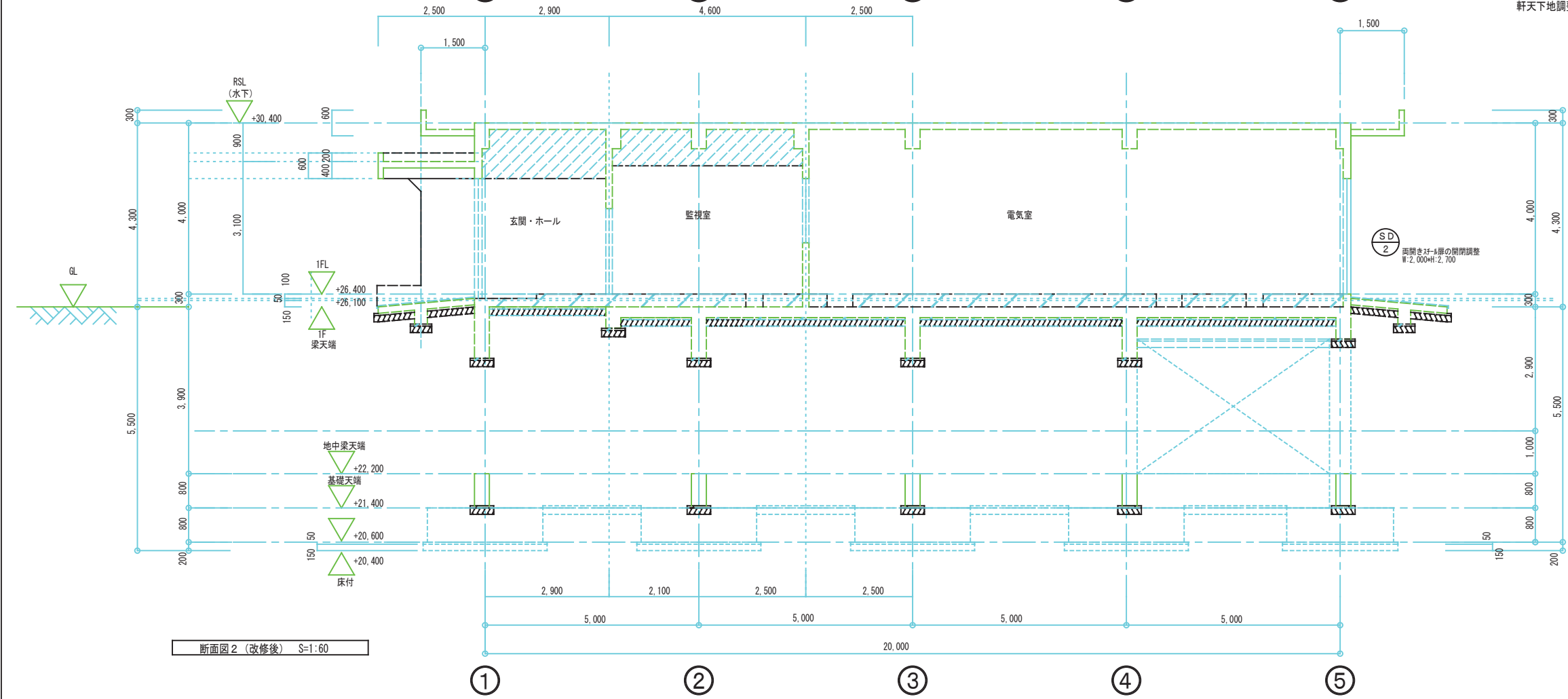


外壁改修
ひび割れ部改修 ウォットソール充填 浮き部改修 フォービニング樹脂注入 注入口付部分珪矽樹脂 16穴/m²
外壁洗浄 高圧洗浄 (30~50Mps)
外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コクリト(C-1)
シーリング 変性シリコン(MS-2) 20*10
軒天塗替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コクリト(C-1)
軒天下地調整 高圧洗浄(30~50Mps)

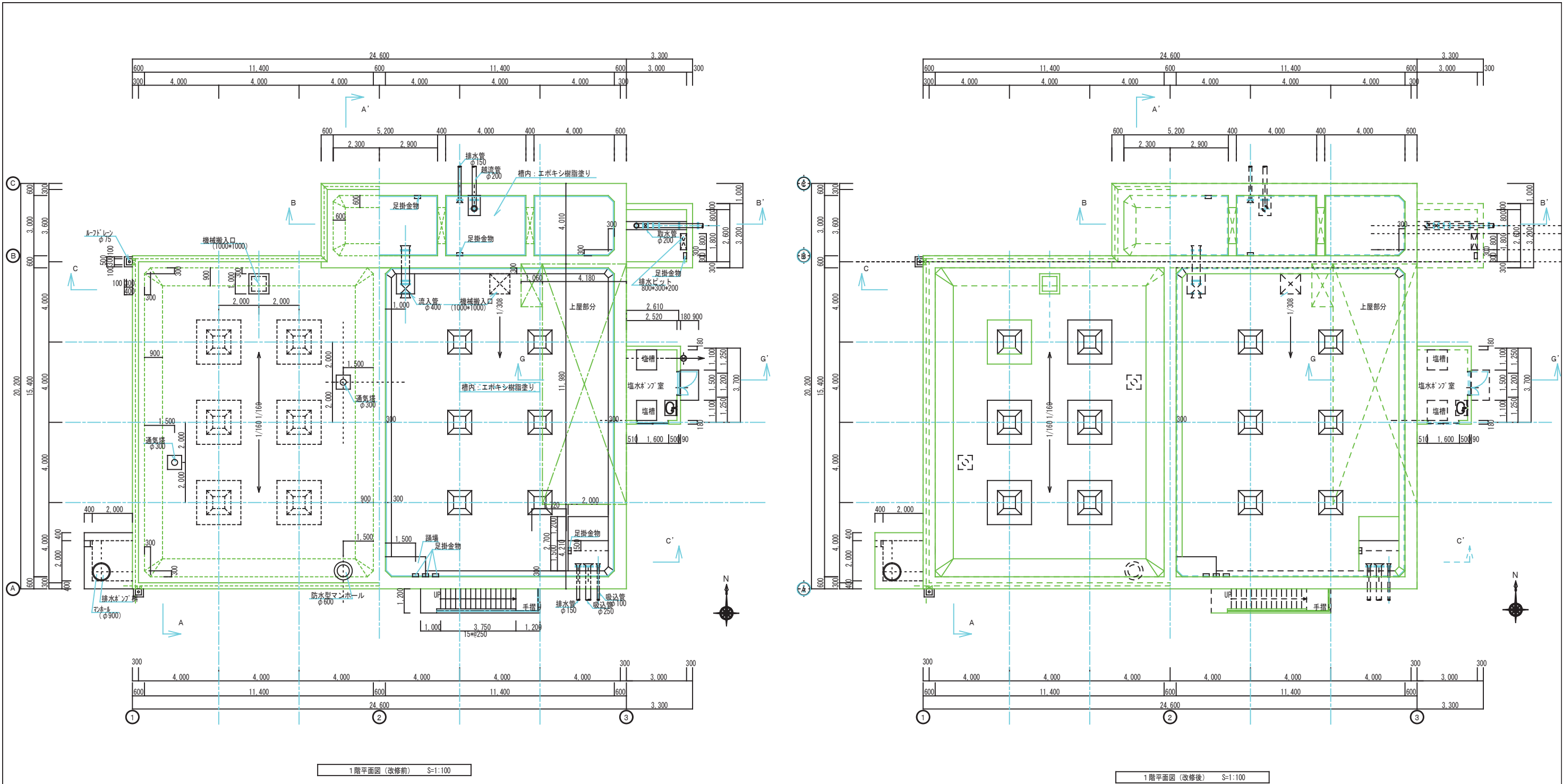
改修内容及び参考数量 (全体)

防水改修			
外壁改修			
シーリング撤去		267.0	m
外壁改修 管理棟			
施工数量調査	外壁面積	315.0	m ²
外壁洗浄	高圧洗浄(30~50Mpa)	315.0	m ²
ひび割れ部改修	ウォットソール充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	フォービニング樹脂注入・注入口付部分珪矽樹脂 16穴/m ²	6.3	m ²
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コクリト(C-1)	315.0	m ²
軒天周リシーリング	変性シリコン(MS-2) 20*10	152.0	m
目地シーリング	変性シリコン(MS-2) 20*10	115.0	m
軒天塗替え	吹付仕上げ 下地調整 可とう形外装導塗材E コクリト(C-1)	94.0	m ²
軒天下地調整	高圧洗浄(30~50Mpa)	94.0	m ²
スチール扉調整費	SD2:両開きスチール扉	1.0	ヶ所
内部改修			
改修 管理棟			
ひび割れ部改修	ウォットソール材充填	110.0	m
欠損部改修			
浮き部改修	フォービニング樹脂注入・注入口付部分珪矽樹脂 16穴/m ²	6.3	m ²
塗装改修			
内部塗装			
仕上げ塗材塗	EP-G (素地)	139.0	m ²

管理棟防水：平成27年度に改修済み。



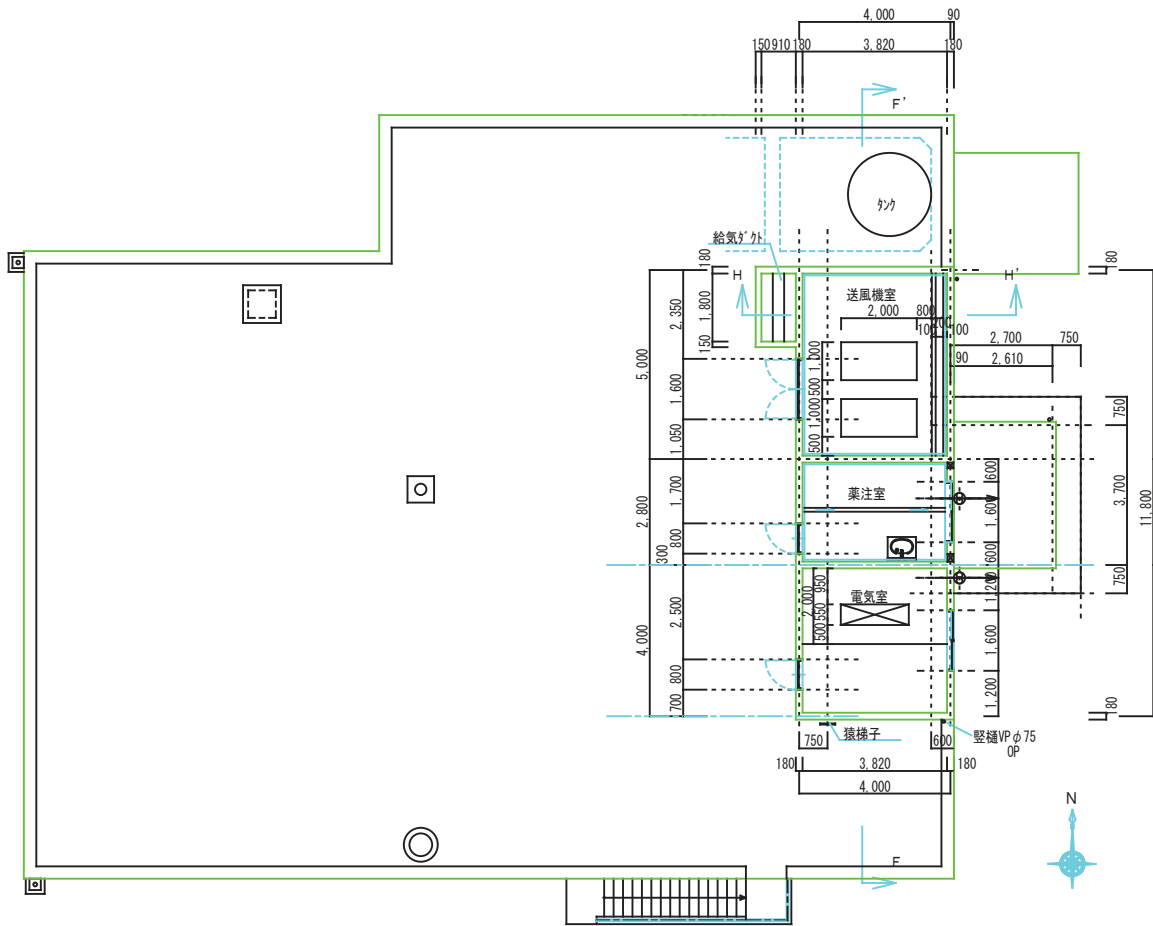
工事名	水浜水源池建築施設改修工事				
図面名称	管理棟：断面図2【改修前・改修後】				
縮 尺	S = 1:60				
図面番号	A - 14		整理番号	—	
設計年月日	令和 7 年 6 月 日				
完成年月日	令和 年 月 日				
米子市上下水道局浄水課					



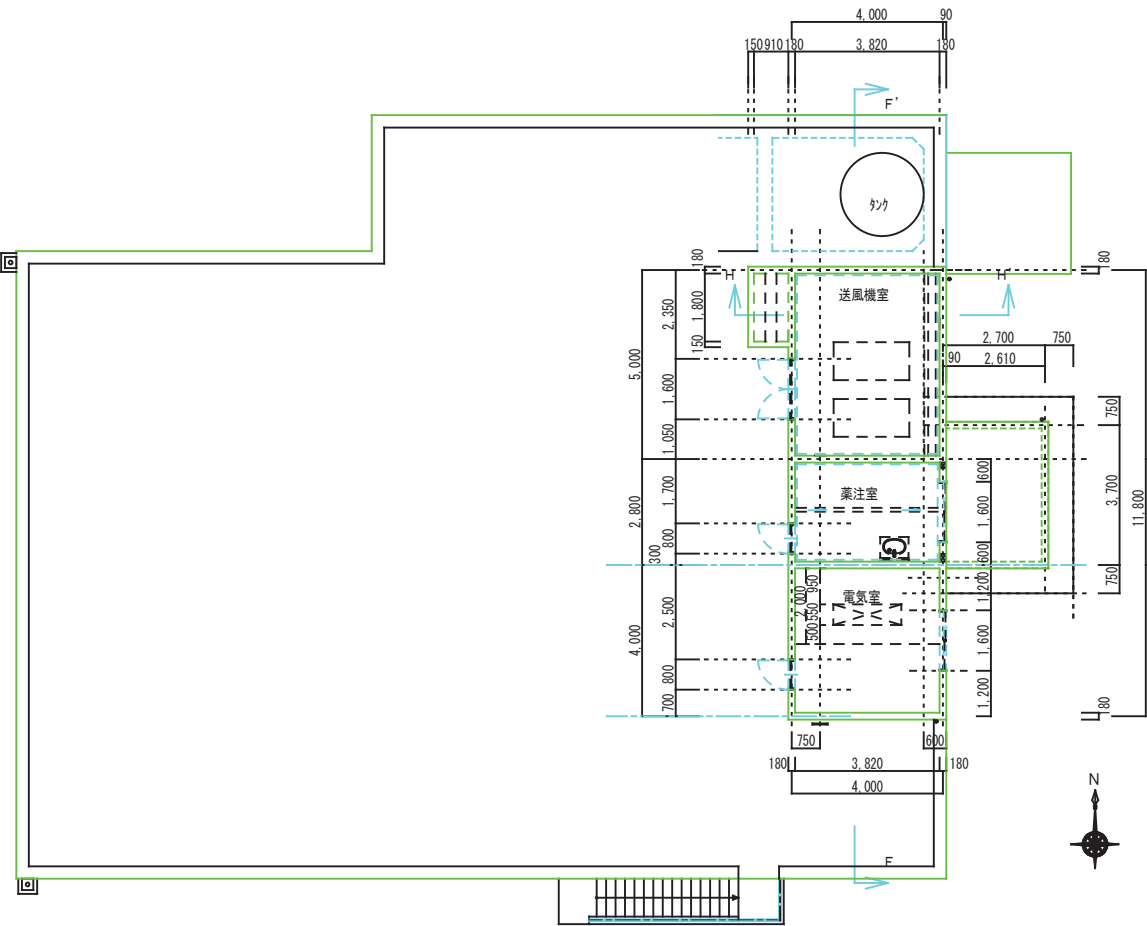
改修内容及び参考数量（全体）

防水改修				外部防水 配水地				ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所
内部防水 配水池				屋上防水改修							
内面防食塗装工事				平場	クリン塗膜防水	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	m ²	外壁改修 配水池		
既設塗膜・劣化部除去工	超高圧水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	m ²	立上り	クリン塗膜防水	X-2工法	83.4	m ²	施工数量調査	外壁面積	340.0
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	箇所	防水押え金物	7&M3ファスナー		80.6	m	外壁洗浄	高圧洗浄(30～50Mpa)	340.0
断面修復工	繊維強化型超導硬性ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	m ²	高圧洗浄	20MPa		472.0	m ²	ひび割れ部改修	ウツリシール充填	113.0
ひび割れ	0.2mm以上～1.0mm未満	32.5	m	下地調整材塗布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む		472.0	m ²	欠損部改修	吹付仕上げ 下地調整 防水形復層塗材E コンクリート(C-1)	340.0
内面防食塗装工	JWWA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	m ²	改修用ドレイン	100φ		3.0	ヶ所	外壁仕上げ		
配管塗装工	JWWA K157適合塗料 配管付属物除去、3種ケレン、塗膜塗装	1.0	式	改修用ドレイン	75φ		3.0	ヶ所			
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	ヵ月	繋縫	100φ		9.8	m			
実状調査	施工前クラック等調査	1.0	式	繋縫	75φ		15.2	m			
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式	撤去工事							
				既設防水シート撤去	平場、立上		58.5	m ²			
				繋縫撤去	100φ 75φ						

工事名	水浜水源池建築施設改修工事				
図面名称	配水池：1階平面図【改修前・改修後】				
縮尺	S = 1:100				
図面番号	A-15		整理番号	—	
設計年月日	令和7年6月		日		
完成年月日	令和 年 月 日				
米子市上下水道局浄水課					



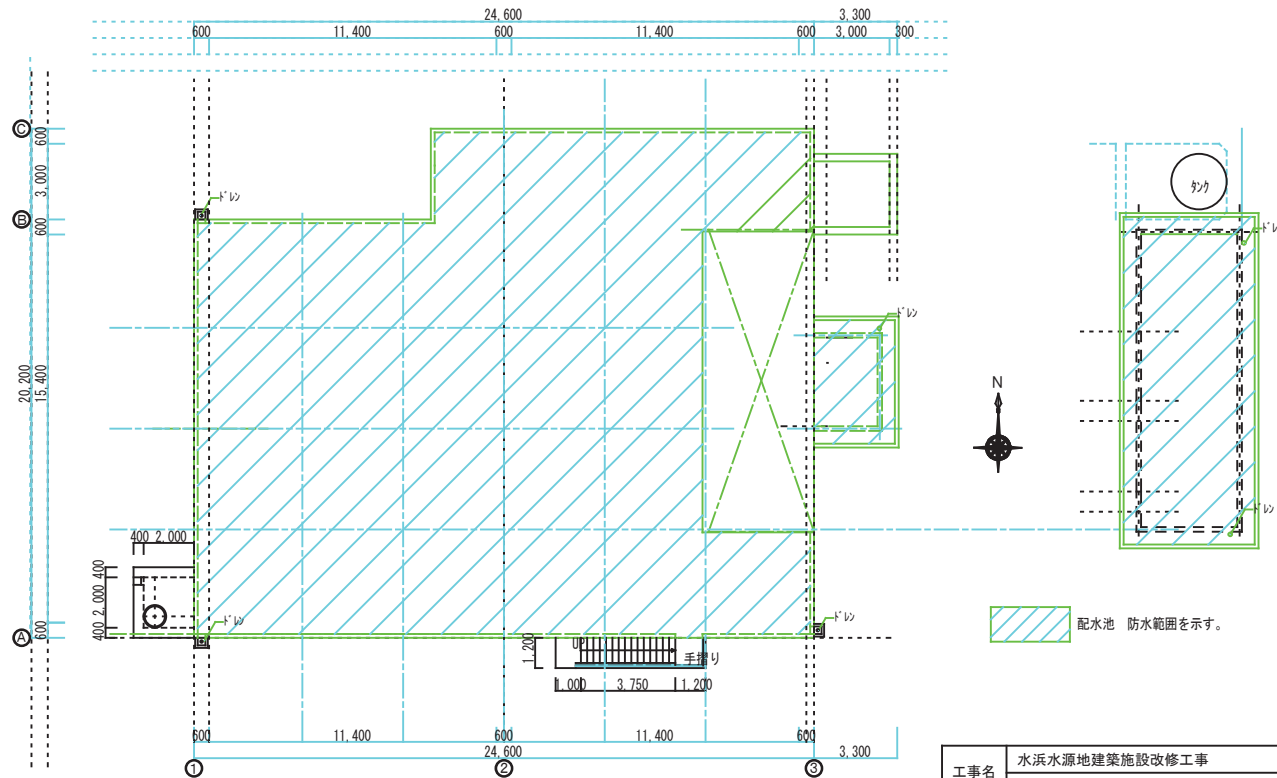
2階平面図 (改修前) S=1:100



2階平面図 (改修後) S=1:100

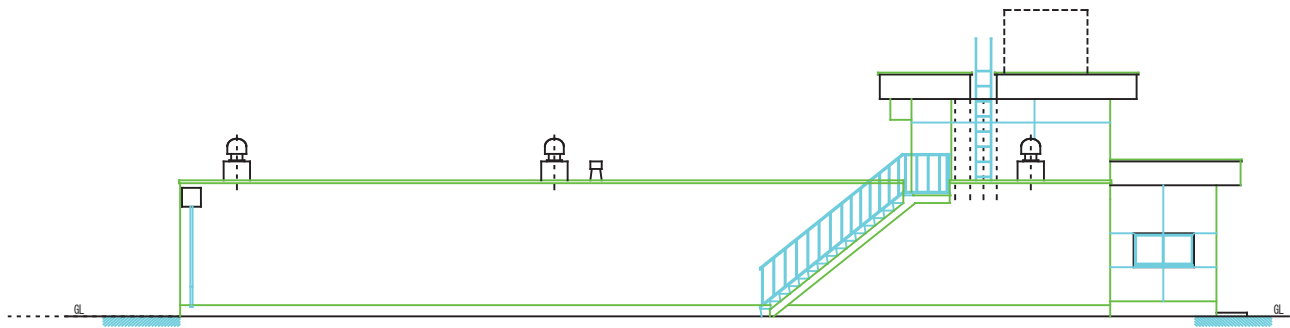
改修内容及び参考数量 (全体)

防水改修				外部防水 配水池				ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所
内部防水 配水池				屋上防水改修							
内面防食塗装工事				平場	ケレン	防水	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	m ²		
既設塗膜・劣化部除去工	超高压水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	m ²	立上り	ケレン	防水	X-2工法	83.4	m ²		
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	箇所	防水押え金物	7Mミッドバー			80.6	m		
断面修復工	繊維強化型超導磁性ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	m ²	高圧洗浄	20MPa			472.0	m ²		
ひび割れ	0.2mm以上～1.0mm未満	32.5	m	下地調整材塗布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む			472.0	m ²		
内面防食塗装工	JWWA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	m ²	改修用ドレイン	100φ			3.0	ヶ所		
配管塗装工	JWWA K157適合塗料 配管付属物除去、3種ケレン、塗膜塗装	1.0	式	改修用ドレイン	75φ			3.0	ヶ所		
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	カ月	縦樋	100φ			9.8	m		
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式	縦樋	75φ			15.2	m		
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式	撤去工事							
				既設防水シート撤去	平場、立上			58.5	m ²		
				縦樋撤去	100φ 75φ			15.5	m		

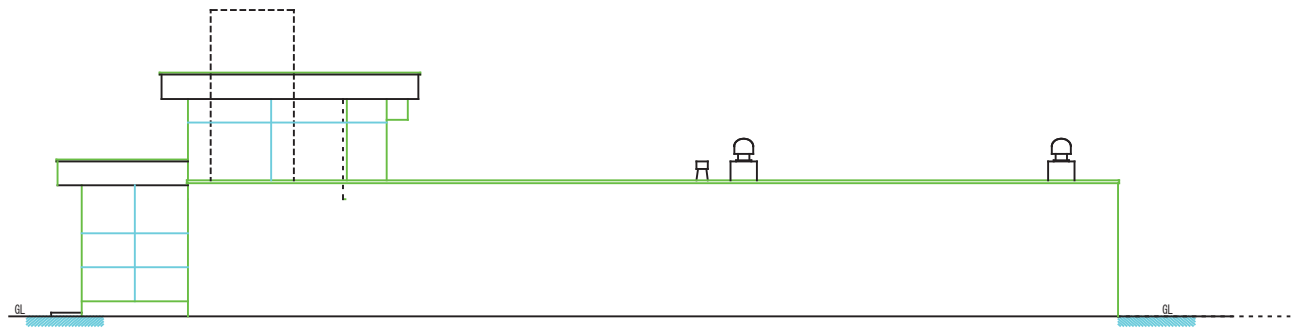


屋根伏図 (改修後) S=1:150

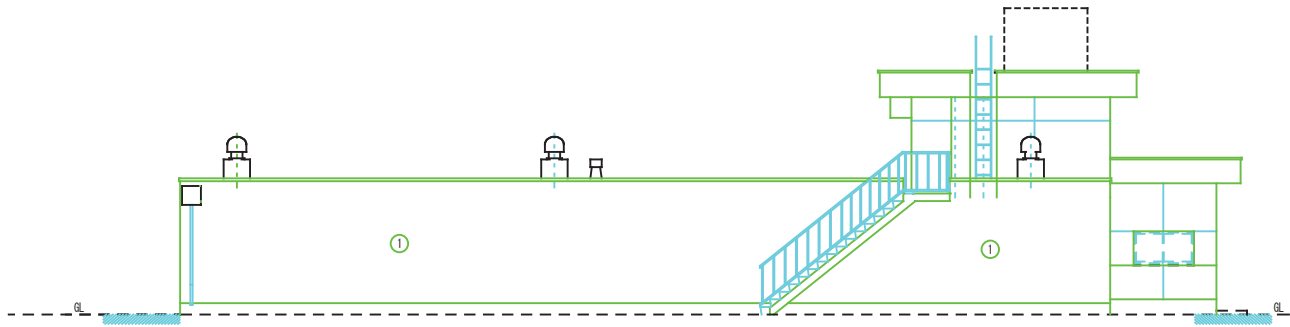
工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	配水池：2階平面図【改修前・改修後】		
縮尺	S = 1:100, 1:150		
図面番号	A-16	整理番号	-
設計年月日	令和 7 年 6 月 日	完成年月日	令和 年 月 日
米子市上下水道局浄水課			



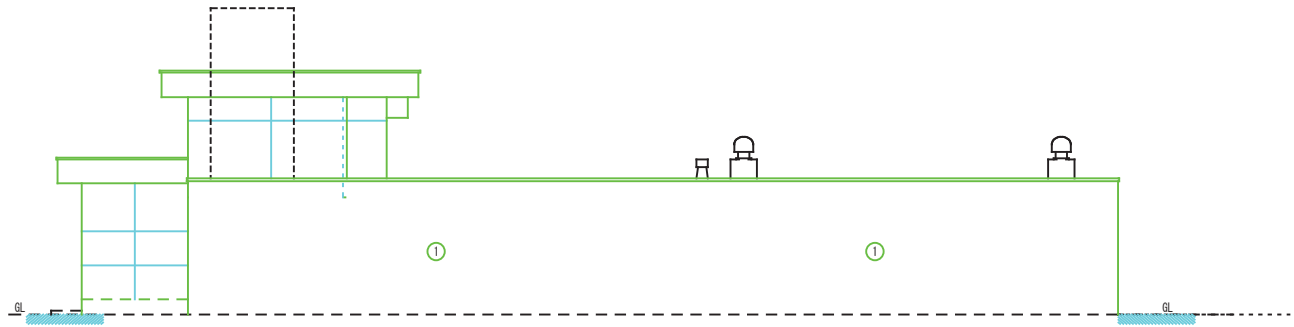
南側立面図（改修前） S=1:100



北側立面図（改修前） S=1:100



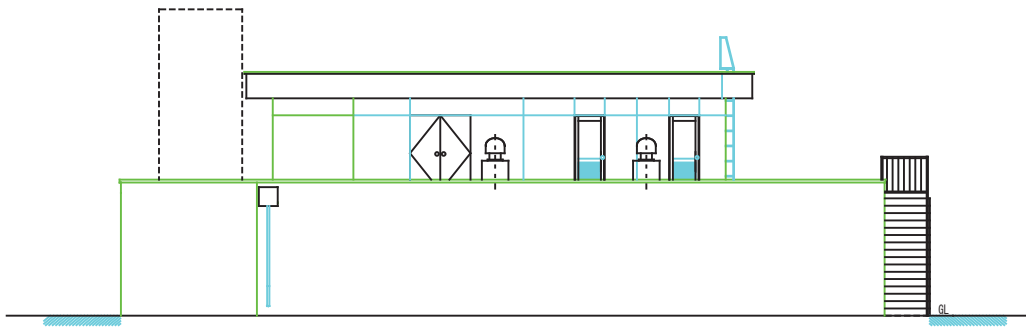
南側立面図（改修後） S=1:100



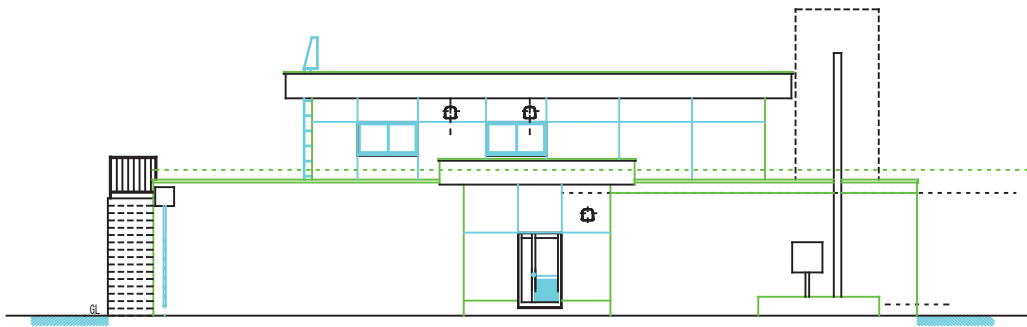
北側立面図（改修後） S=1:100

- 外壁改修
① ひび割れ部改修 Uカットシール充填 浮き部改修 アカビニグ樹脂注入
注入口付部分珪砂樹脂 16穴/㎡
外壁洗浄 高圧洗浄 (30～50Mps)
外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)
② シーリング 変性シリコン(MS-2) 20×10
③ 軒天塗替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)
軒天地下地調整 高圧洗浄(30～50Mps)

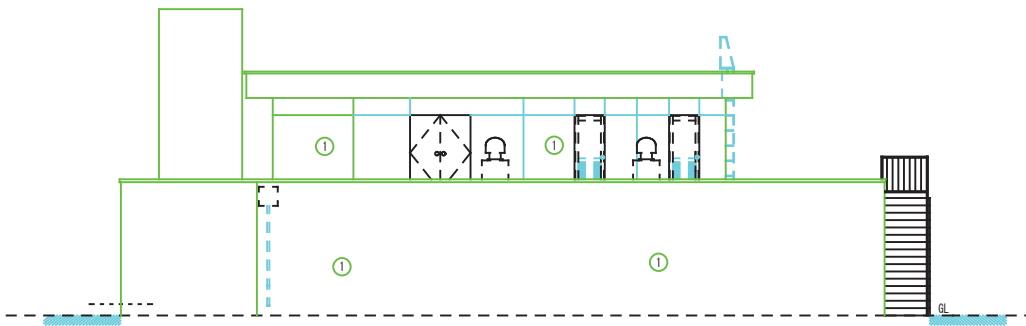
改修内容及び参考数量（全体）			
防水改修			
内部防水 配水池			
内面防食塗装工事			
既設塗膜・劣化部除去工	超高圧水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	㎡
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	箇所
断面修復工	繊維強化型超硬性ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	㎡
ひび割れ	0.2mm以上～1.0mm未満	32.5	m
内面防食塗装工	JWIA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	㎡
配管塗装工	JWIA K157適合塗料	1.0	式
養生対策費	配管付着物除去、3種ケレン、塗替塗装 送風機設置 6台	3.0	ヵ月
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式
外部防水 配水池			
屋上防水改修			
平場	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	㎡
立上り	X-2工法	83.4	㎡
防水押え金物	7kSフラットバー	80.6	m
高圧洗浄	20MPa	472.0	㎡
下地調整材塗布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む	472.0	㎡
改修用ドレイン	100φ	3.0	ヶ所
改修用ドレイン	75φ	3.0	ヶ所
縦樋	100φ	9.8	m
縦樋	75φ	15.2	m
撤去工事			
既設防水シート撤去	平場、立上	58.5	㎡
縦樋撤去	100φ 75φ	15.5	m
ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所
外壁改修 配水池			
施工数量調査	外壁面積	340.0	㎡
外壁洗浄	高圧洗浄(30～50Mpa)	340.0	㎡
ひび割れ部改修	Uカットシール充填	113.0	m
欠損部改修			
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)	340.0	㎡



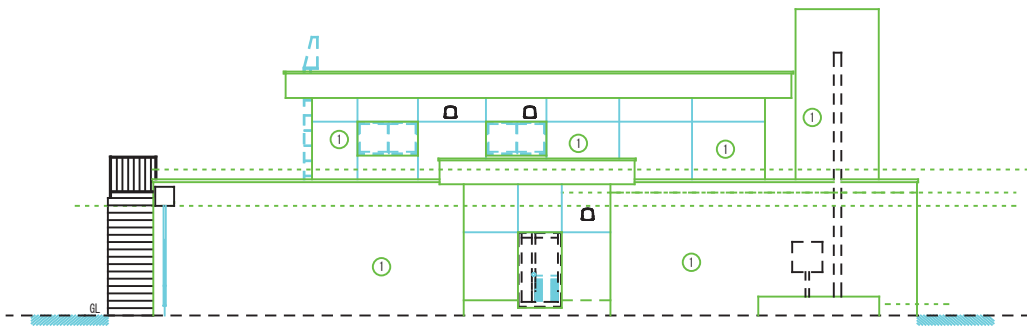
西側立面図（改修前） S=1:100



東側立面図（改修前） S=1:100

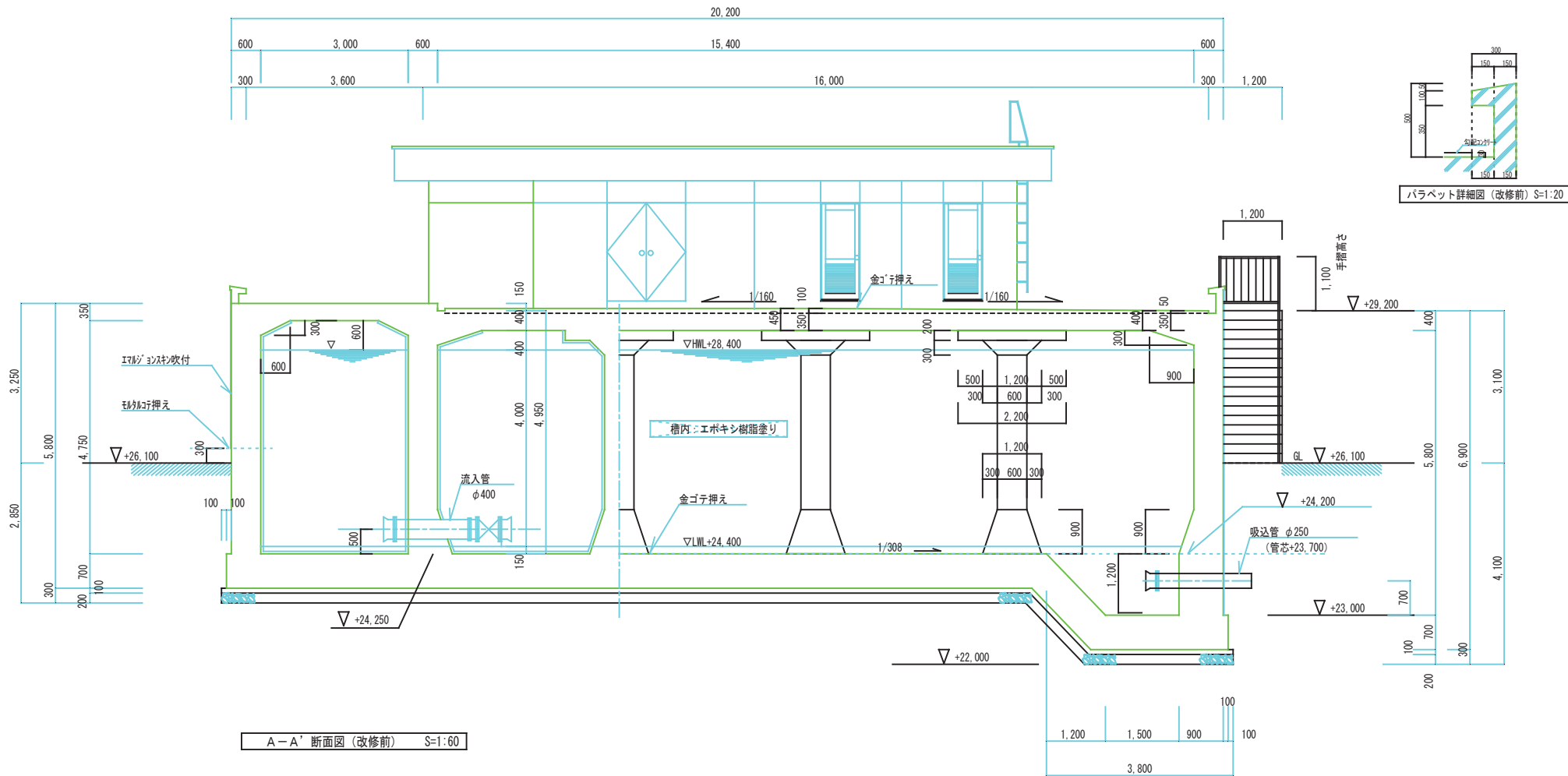


西側立面図（改修後） S=1:100

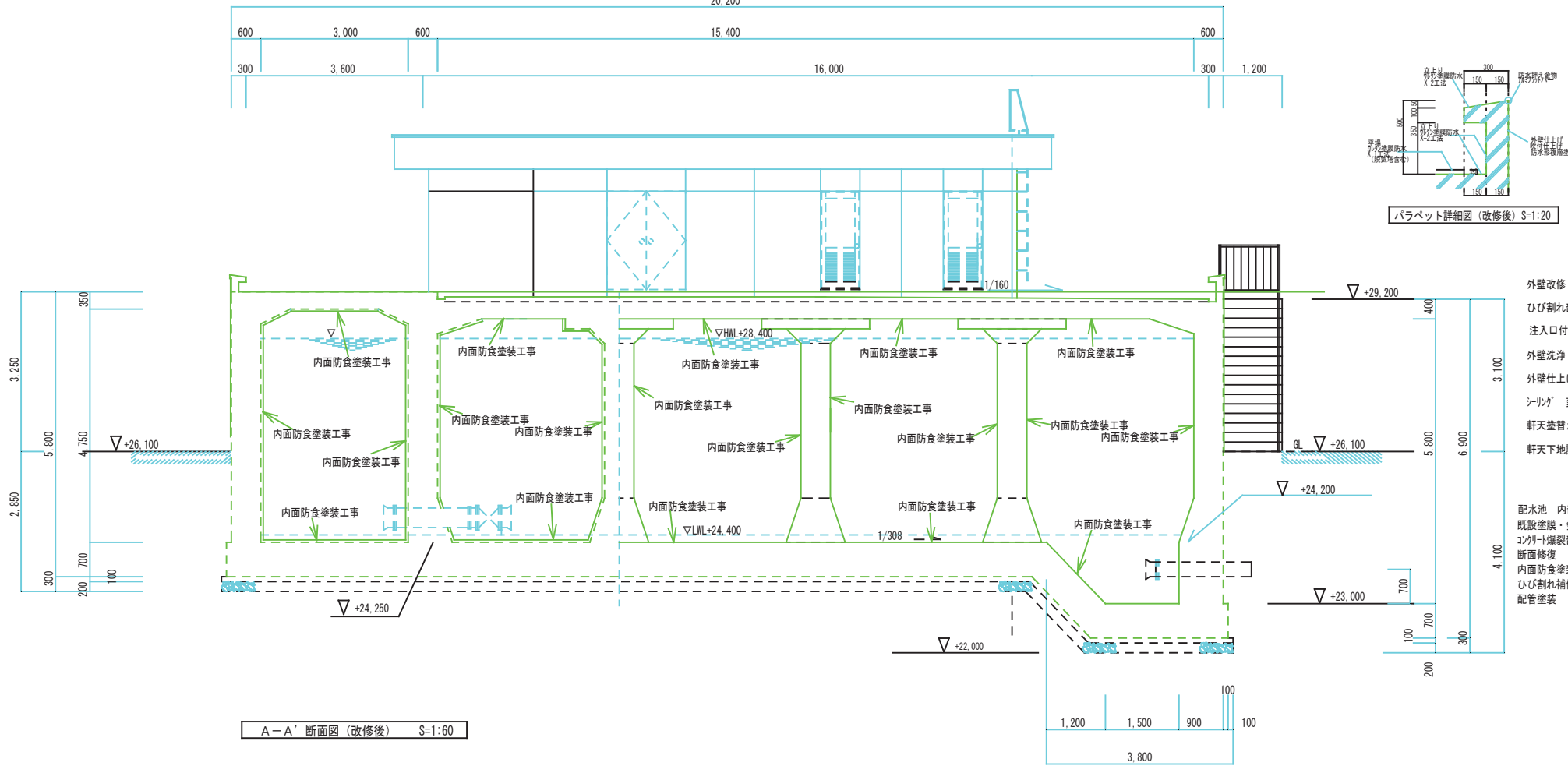


東側立面図（改修後） S=1:100

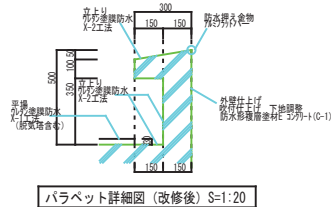
工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	配水池：立面図【改修前・改修後】		
縮 尺	S = 1:100		
図面番号	A-17	整理番号	—
設計年月日	令和 7 年 6 月	日	
完成年月日	令和 年 月	日	
米子市上下水道局浄水課			



A-A' 断面図 (改修前) S=1:60



A-A' 断面図 (改修後) S=1:60



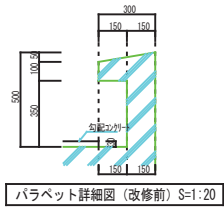
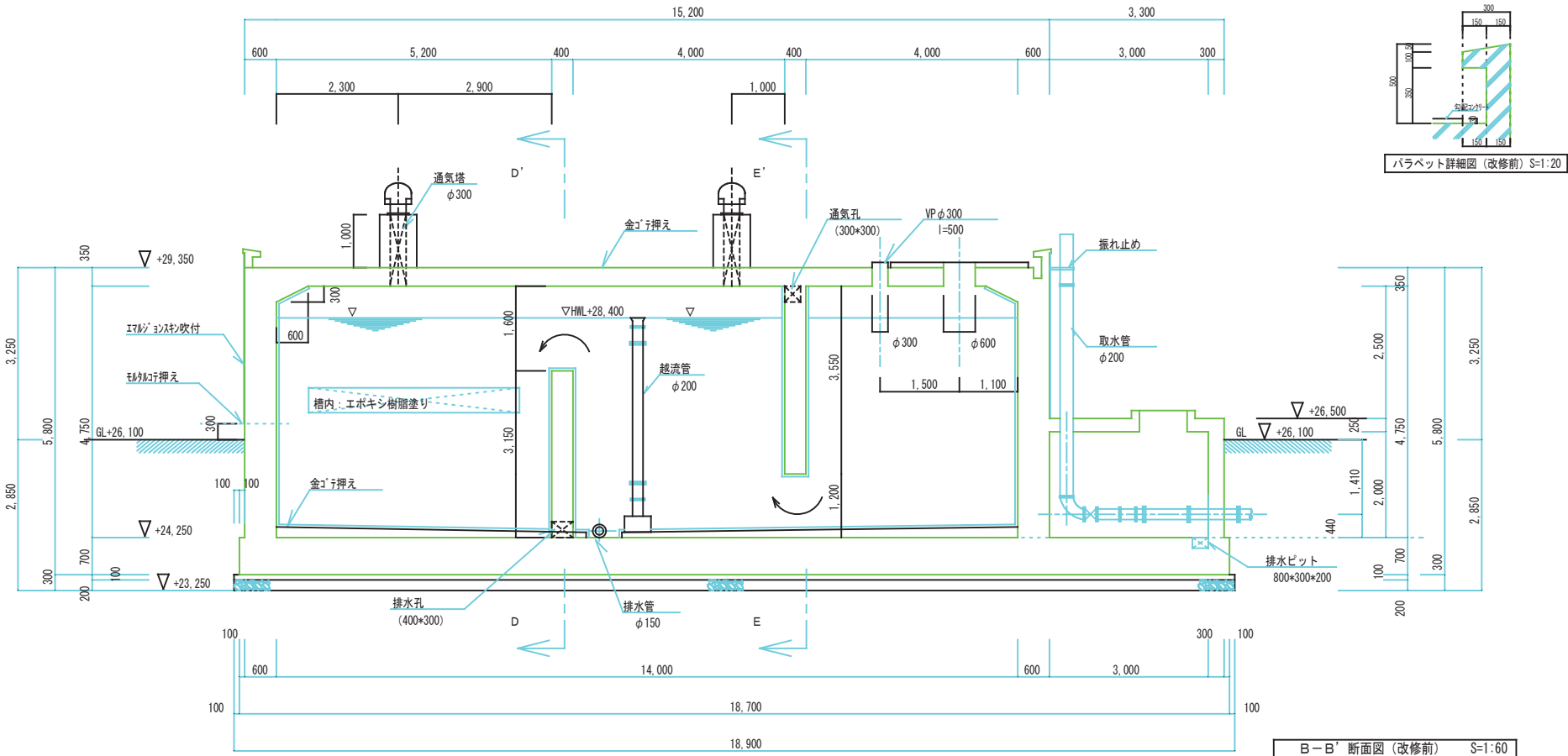
パラペット詳細図 (改修後) S=1:20

外壁改修
ひび割れ部改修 ウレタン充填 浮き部改修 フォーミング樹脂注入
注入口付部分球杉樹脂 16穴/㎡
外壁洗浄 高圧洗浄 (30~50Mps)
外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)
シーリング 変性シリコン(MS-2) 20×10
軒天塗替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)
軒天地下調整 高圧洗浄(30~50Mps)

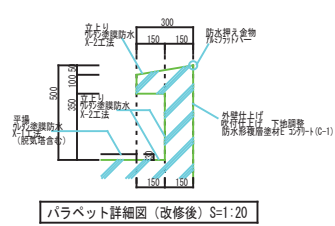
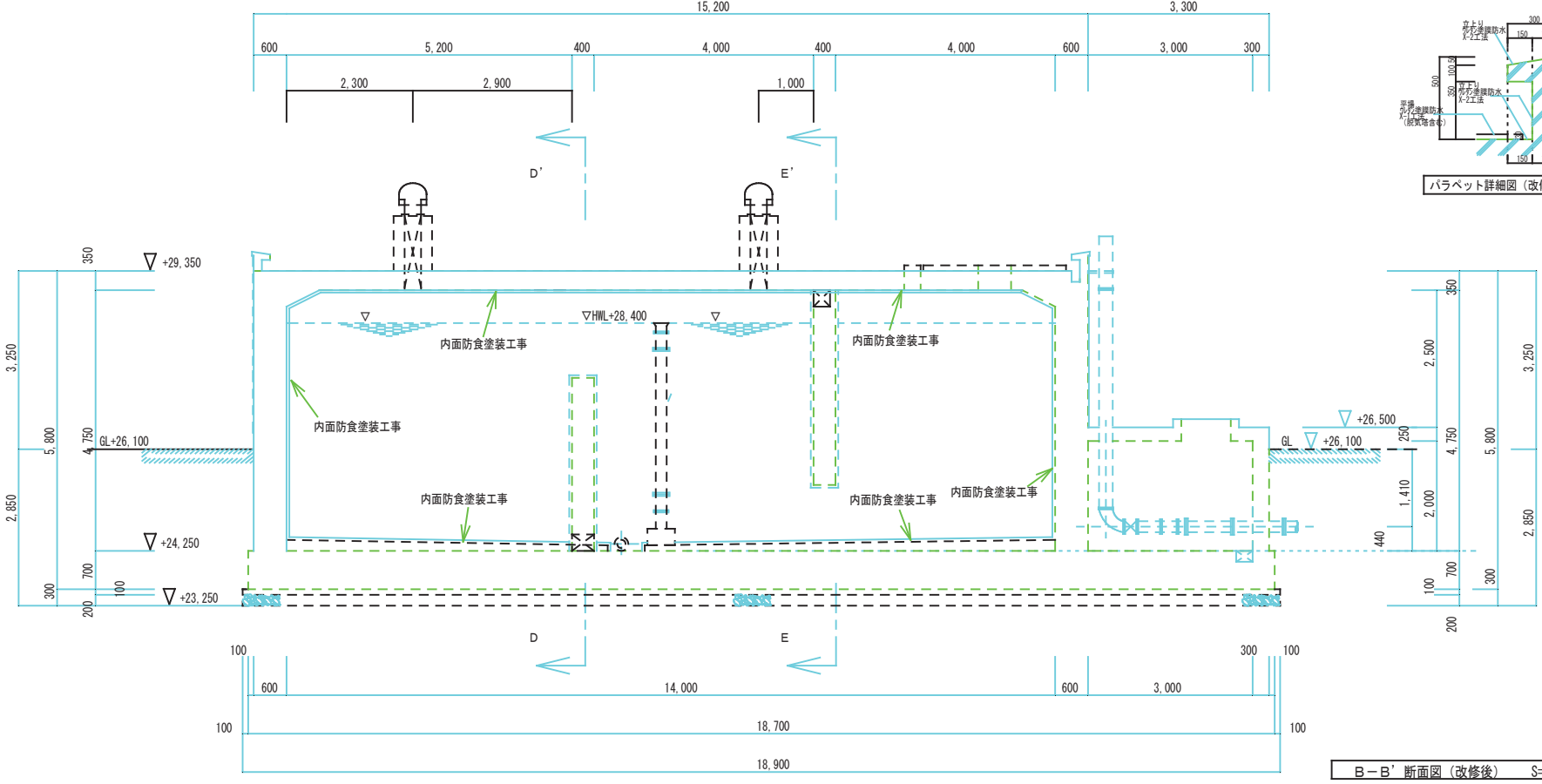
配水池 内部防水 (一部分)
既設塗膜・劣化部除去 超高圧水洗浄 150Mpa以上
コンクリート爆裂部補修 壁・天井
断面修復
内面防食塗装
ひび割れ補修
配管塗装

改修内容及び参考数量 (全体)				
防水改修				
内部防水 配水池				
内面防食塗装工事				
既設塗膜・劣化部除去工	超高圧水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	㎡	
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	箇所	
断面修復工	繊維強化型超硬質ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	㎡	
ひび割れ	0.2mm以上~1.0mm未満	32.5	m	
内面防食塗装工	JWNA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	㎡	
配管塗装工	JWNA K157適合塗料 配管付着物除去、3種ケレン、塗替塗装	1.0	式	
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	ヵ月	
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式	
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式	
外部防水 配水池				
屋上防水改修				
平場	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	㎡	
クリン塗膜防水	X-2工法	83.4	㎡	
立上り				
クリン塗膜防水				
防水押え金物	7A37フットバー	80.6	m	
高圧洗浄	20MPa	472.0	㎡	
下地調整材散布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む	472.0	㎡	
改修用ドレイン	100φ	3.0	ヶ所	
改修用ドレイン	75φ	3.0	ヶ所	
縦樋	100φ	9.8	m	
縦樋	75φ	15.2	m	
撤去工事				
既設防水シート撤去	平場、立上	58.5	㎡	
縦樋撤去	100φ 75φ	15.5	m	
ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所	
外壁改修 配水池				
施工数量調査	外壁面積	340.0	㎡	
外壁洗浄	高圧洗浄(30~50Mpa)	340.0	㎡	
ひび割れ部改修	ウレタン充填	113.0	m	
欠損部改修				
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(C-1)	340.0	㎡	

工事名			
水浜水源池建築施設改修工事			
図面名称	配水池：断面図1【改修前・改修後】		
縮尺	S = 1:20、1:60		
図面番号	A-18	整理番号	-
設計年月日	令和 7 年 6 月 日		
完成年月日	令和 年 月 日		
米子市上下水道局浄水課			



B-B' 断面図 (改修前) S=1:60



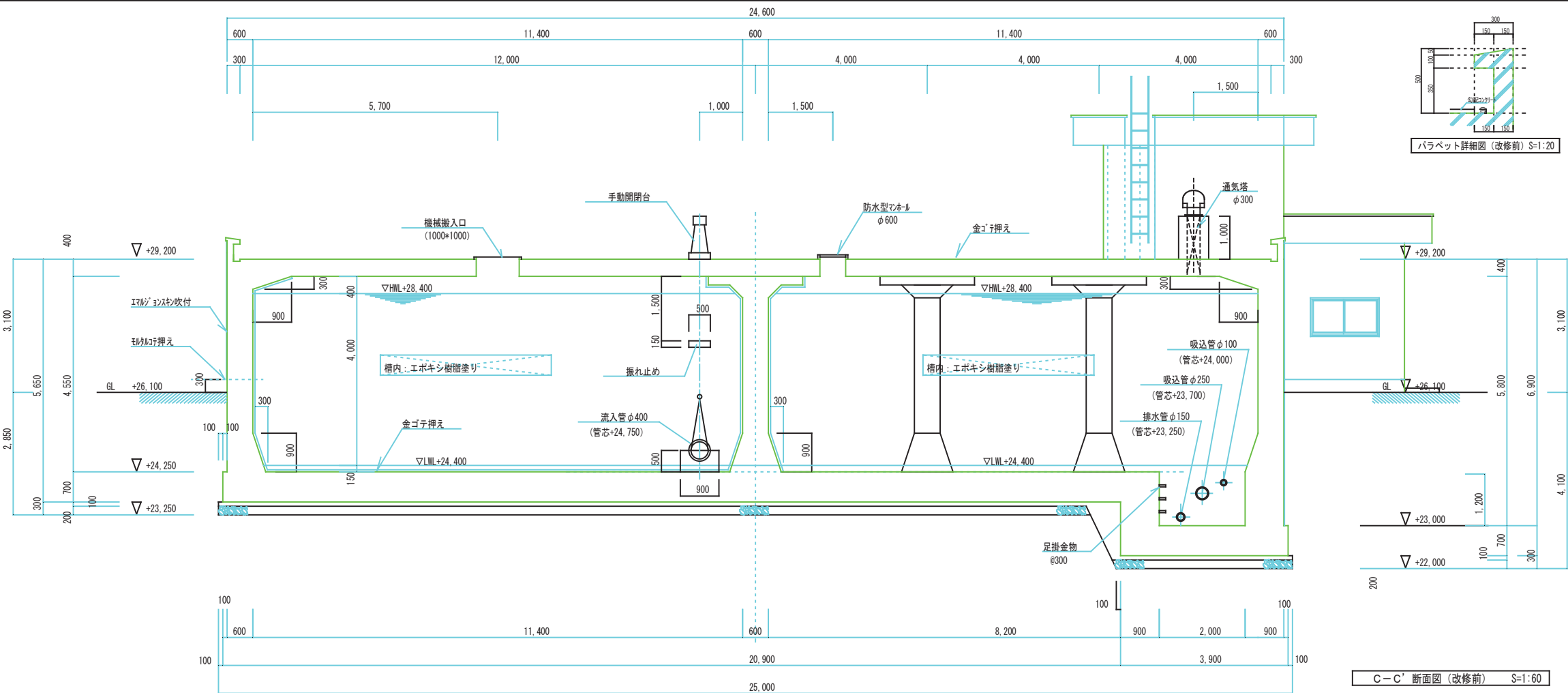
B-B' 断面図 (改修後) S=1:60

外壁改修
ひび割れ部改修 ウルトラ充填 浮き部改修 アンカ・コンクリート樹脂注入
注入口付部分球'杉樹脂 16穴/㎡
外壁洗浄 高圧洗浄 (30~50Mpa)
外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コクリト(C-1)
シーリング 変性シリコン(MS-2)20+10
軒天塗替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コクリト(C-1)
軒天下地調整 高圧洗浄(30~50Mpa)

配水池 内部防水 (一部分)
既設塗膜・劣化部除去 超高圧水洗浄 150Mpa以上
コンクリート爆裂部補修 壁・天井
断面修復
内面防食塗装
ひび割れ補修
配管塗装

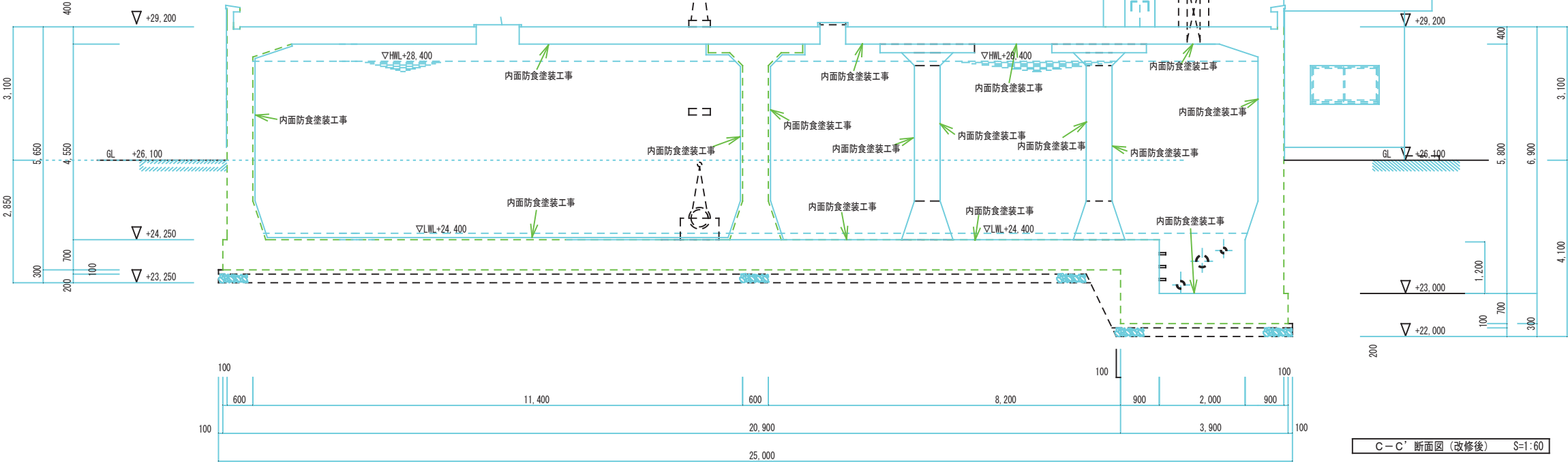
改修内容及び参考数量 (全体)			
防水改修			
内部防水 配水池			
内面防食塗装工事			
既設塗膜・劣化部除去工	超高圧水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	㎡
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	箇所
断面修復工	繊維補強型超硬性ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	㎡
ひび割れ	0.2mm以上~1.0mm未満	32.5	m
内面防食塗装工	JWMA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	㎡
配管塗装工	JWMA K157適合塗料 配置付着物除去、3種ケレン、塗替塗装	1.0	式
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	ヵ月
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式
外部防水 配水池			
屋上防水改修			
平場	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	㎡
クリン塗膜防水	X-2工法	83.4	㎡
立上り			
クリン塗膜防水			
防水押え金物	7本37mmバー	80.6	m
高圧洗浄	20MPa	472.0	㎡
下地調整材散布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む	472.0	㎡
改修用ドレイン	100φ	3.0	ヶ所
改修用ドレイン	75φ	3.0	ヶ所
縦樋	100φ	9.8	m
縦樋	75φ	15.2	m
撤去工事			
既設防水シート撤去	平場、立上	58.5	㎡
縦樋撤去	100φ 75φ	15.5	m
ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所
外壁改修 配水池			
施工数量調査	外壁面積	340.0	㎡
外壁洗浄	高圧洗浄(30~50Mpa)	340.0	㎡
ひび割れ部改修	ウルトラ充填	113.0	m
欠損部改修			
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コクリト(C-1)	340.0	㎡

工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	配水池：断面図2【改修前・改修後】		
縮尺	S = 1:20、1:60		
図面番号	A-19	整理番号	—
設計年月日	令和 7 年 6 月 日		
完成年月日	令和 年 月 日		
米子市上下水道局浄水課			



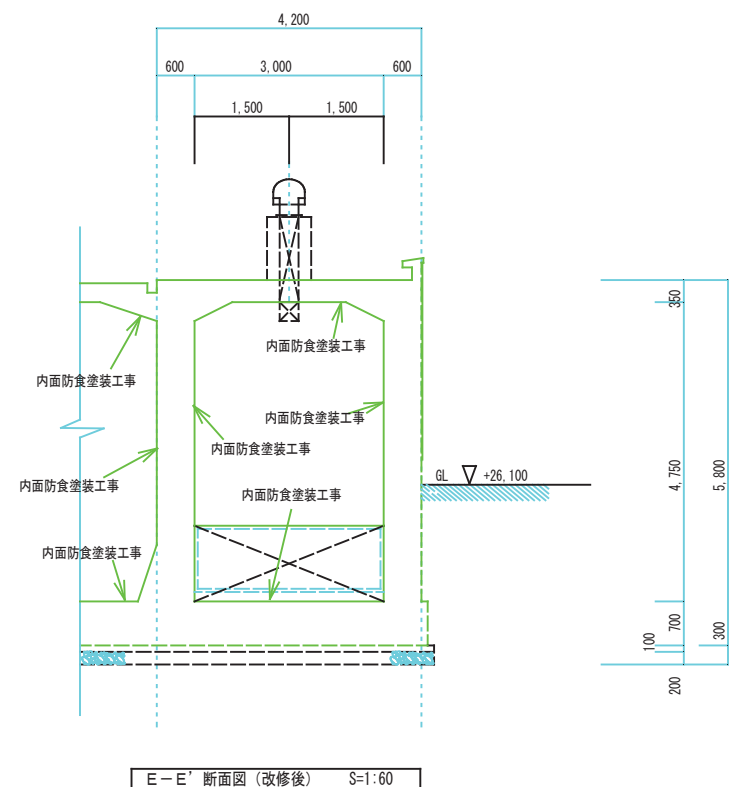
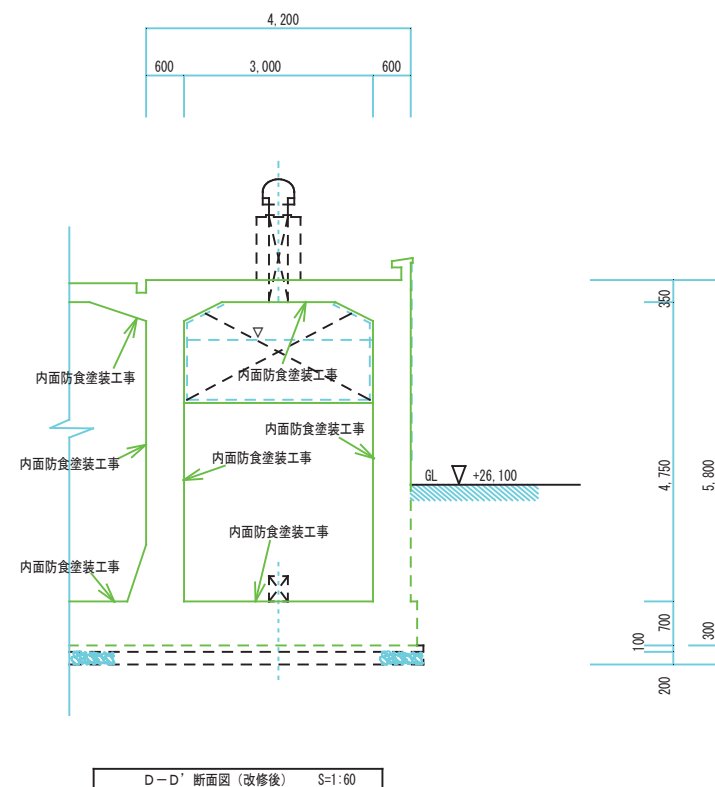
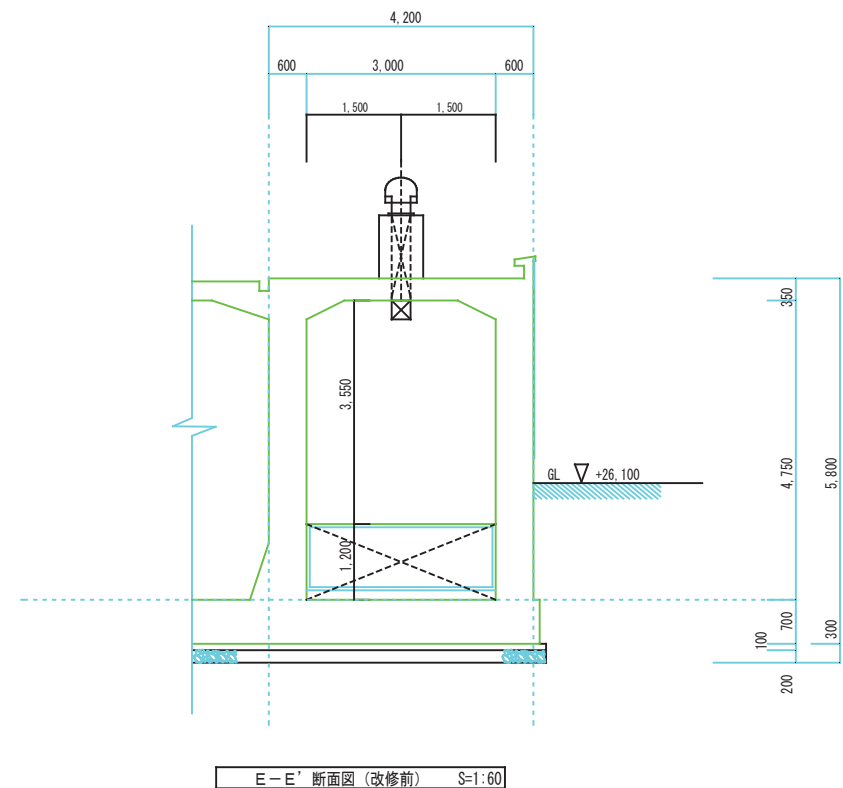
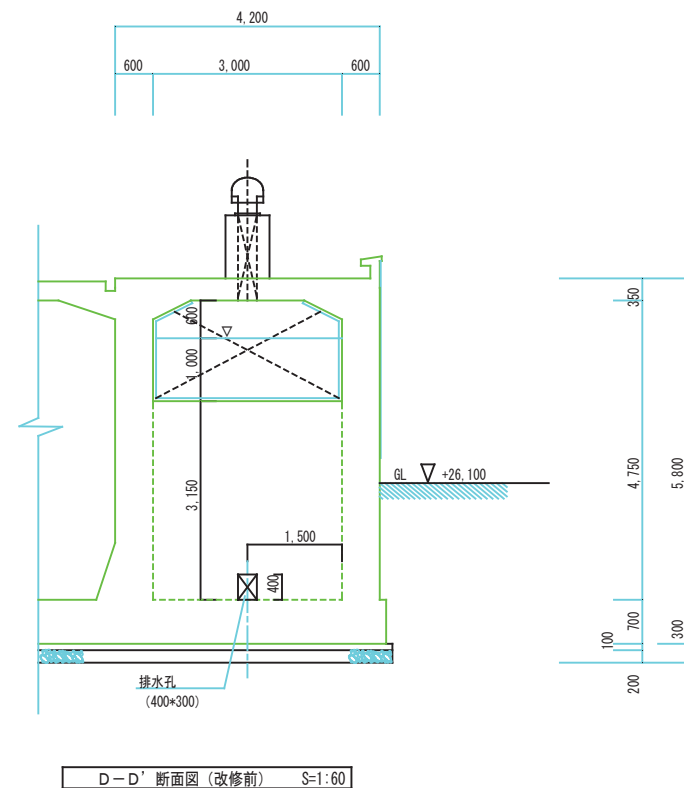
外壁改修
ひび割れ部改修 Uカッパール充填 浮き部改修 アナログ樹脂注入
注入口付部分球杉樹脂 16穴/㎡
外壁洗浄 高圧洗浄 (30~50Mpa)
外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形復層塗材E コンクリート(C-1)
シーリング 変性シリコン(MS-2)20*10
軒天塗替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形復層塗材E コンクリート(C-1)
軒天下地調整 高圧洗浄(30~50Mpa)

配水池 内部防水 (一部)
既設塗膜・劣化部除去 超高圧水洗浄 150Mpa以上
コンクリート亀裂部補修 壁・天井
断面修復
内面防食塗装
ひび割れ補修
配管塗装



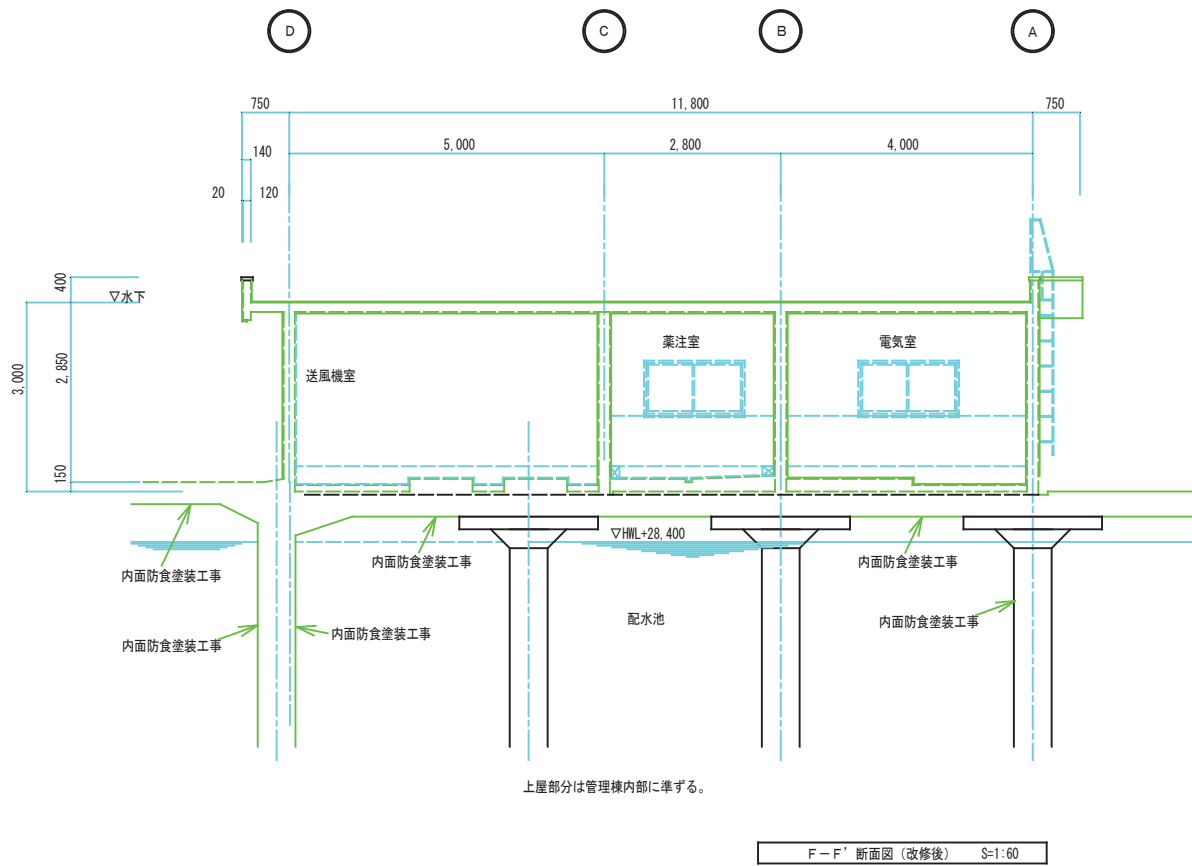
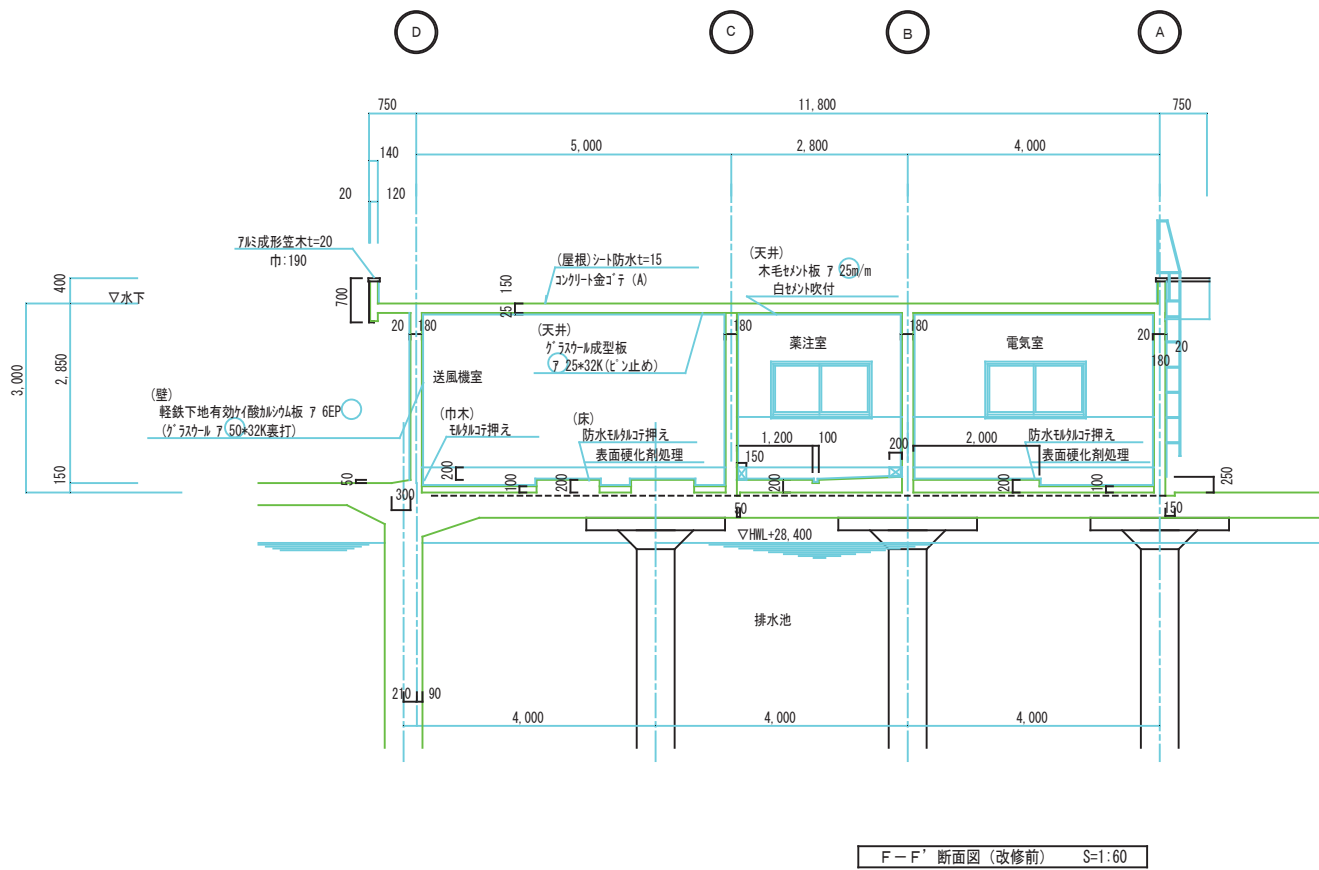
改修内容及び参考数量 (全体)			
防水改修			
内部防水 配水池			
内面防食塗装工事			
既設塗膜・劣化部除去工	超高圧水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	㎡
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	個所
断面修復工	縦横補強型超硬質ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	㎡
ひび割れ	0.2mm以上~1.0mm未満	32.5	m
内面防食塗装工	JWMA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	㎡
配管塗装工	JWMA K157適合塗料 配置付着物除去、3種ケレン、塗替塗装	1.0	式
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	ヵ月
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式
外部防水 配水池			
屋上防水改修			
平場 ケレン塗膜防水	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	㎡
立上り ケレン塗膜防水	X-2工法	83.4	㎡
防水押え金物	7A37アトバー	80.6	m
高圧洗浄	20MPa	472.0	㎡
下地調整材散布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む	472.0	㎡
改修用ドレイン	100φ	3.0	ヶ所
改修用ドレイン	75φ	3.0	ヶ所
縦樋	100φ	9.8	m
縦樋	75φ	15.2	m
撤去工事			
既設防水シート撤去	平場、立上	58.5	㎡
縦樋撤去	100φ 75φ	15.5	m
ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所
外壁改修 配水池			
施工数量調査	外壁面積	340.0	㎡
外壁洗浄	高圧洗浄(30~50Mpa)	340.0	㎡
ひび割れ部改修	Uカッパール充填	113.0	m
欠損部改修			
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形復層塗材E コンクリート(C-1)	340.0	㎡

工事名				水浜水源池建築施設改修工事			
図面名称		配水池：断面図 3【改修前・改修後】					
縮 尺		S = 1:20、1:60					
図面番号		A－2 0		整理番号		－	
設計年月日			令和 7 年		6 月		日
完成年月日			令和 年		月		日
米子市上下水道局浄水課							



改修内容及び参考数量（全体）			
防水改修			
内部防水 配水池			
内面防食塗装工事			
既設塗膜・劣化部除去工	超高压水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	m ²
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (露部)	2.0	箇所
断面修復工	繊維補強型超速硬化ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	m ²
ひび割れ	0.2mm以上～1.0mm未満	32.5	m
内面防食塗装工	JWWA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	m ²
配管塗装工	JWWA K157適合塗料 配置付着物除去、3種ケレン、塗替塗装	1.0	式
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	ヵ月
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式
外部防水 配水池			
屋上防水改修			
平場 ケレン塗膜防水	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	m ²
立上り ケレン塗膜防水	X-2工法	83.4	m ²
防水押え金物	7k37カットバー	80.6	m
高圧洗浄	20MPa	472.0	m ²
下地調整材塗布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む	472.0	m ²
改修用ドレイン	100φ	3.0	ヶ所
改修用ドレイン	75φ	3.0	ヶ所
縦樋	100φ	9.8	m
縦樋	75φ	15.2	m
撤去工事			
既設防水シート撤去	平場、立上	58.5	m ²
縦樋撤去	100φ 75φ	15.5	m
ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所
外壁改修 配水池			
施工数量調査	外壁面積	340.0	m ²
外壁洗浄	高圧洗浄(30～50Mpa)	340.0	m ²
ひび割れ部改修	Uカッパル充填	113.0	m
欠損部改修			
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(G-1)	340.0	m ²

工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	配水池：断面図4【改修前・改修後】		
縮 尺	S = 1:60		
図面番号	A-21	整理番号	—
設計年月日	令和 7 年 6 月 日		
完成年月日	令和 年 月 日		
米 子 市 上 下 水 道 局 浄 水 課			

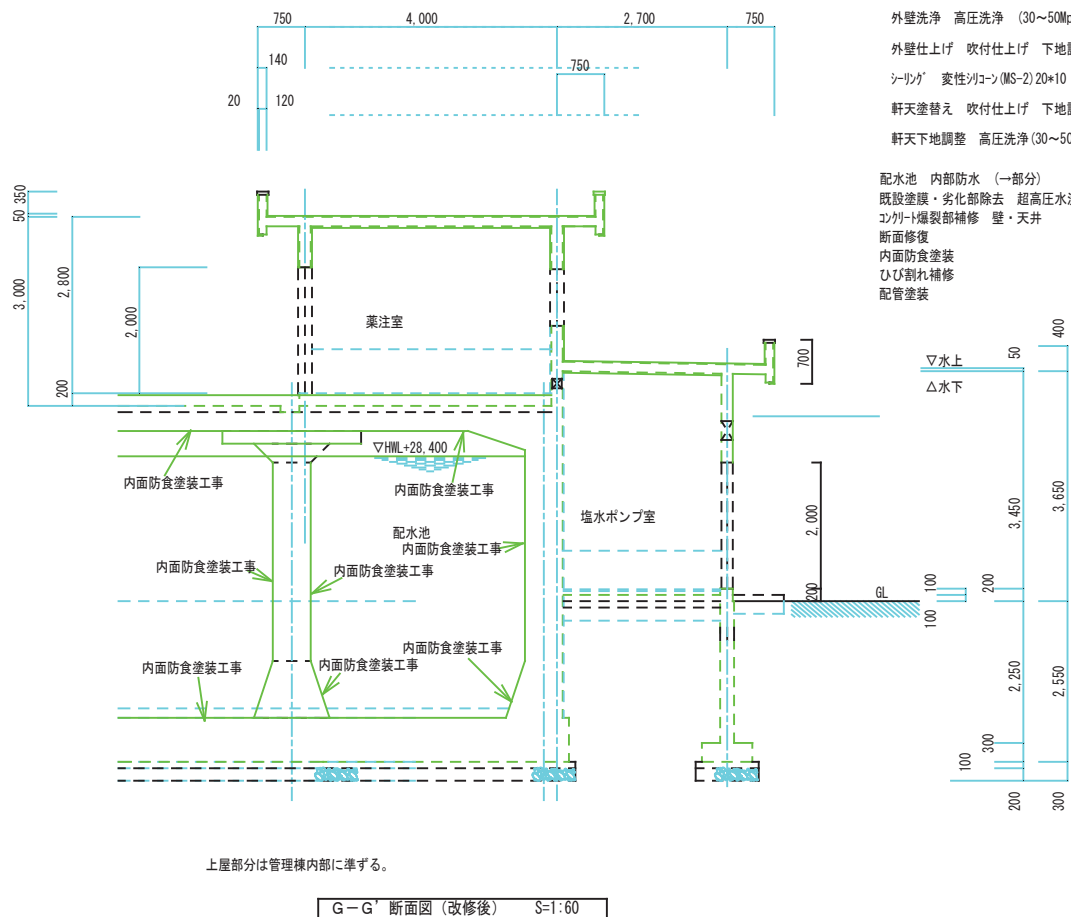
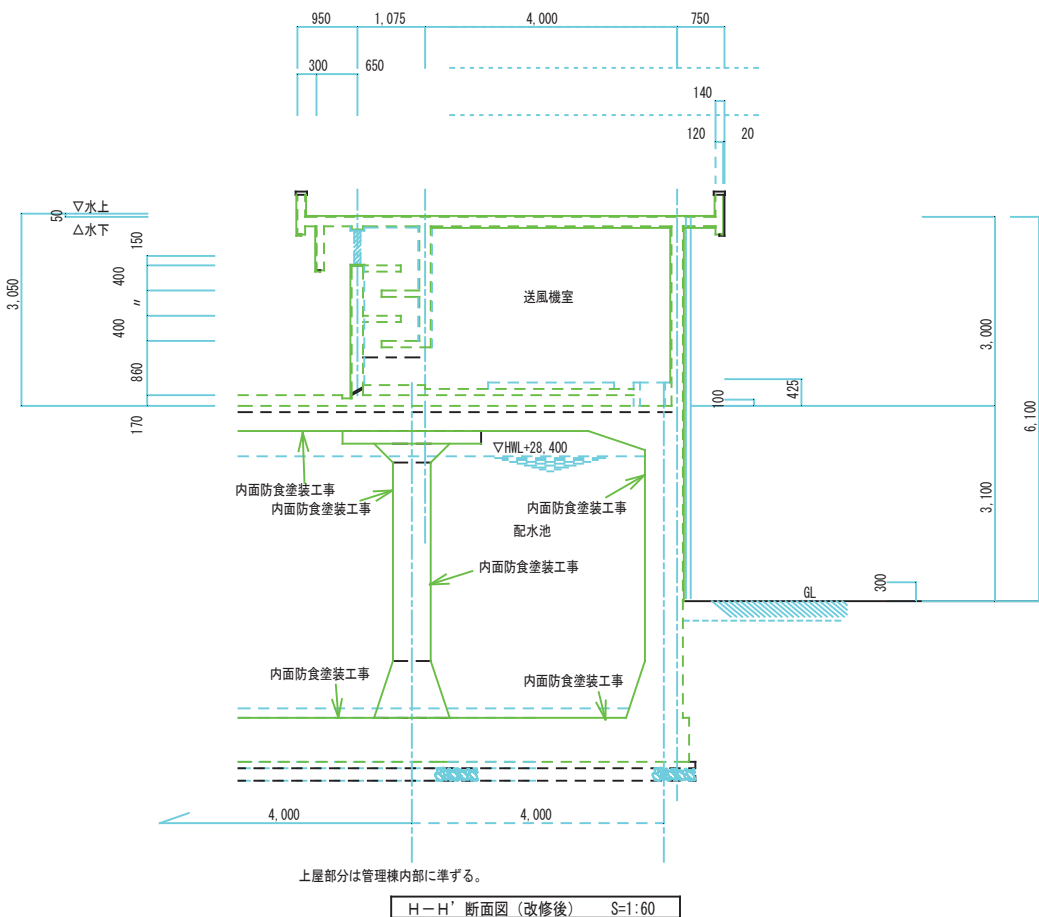
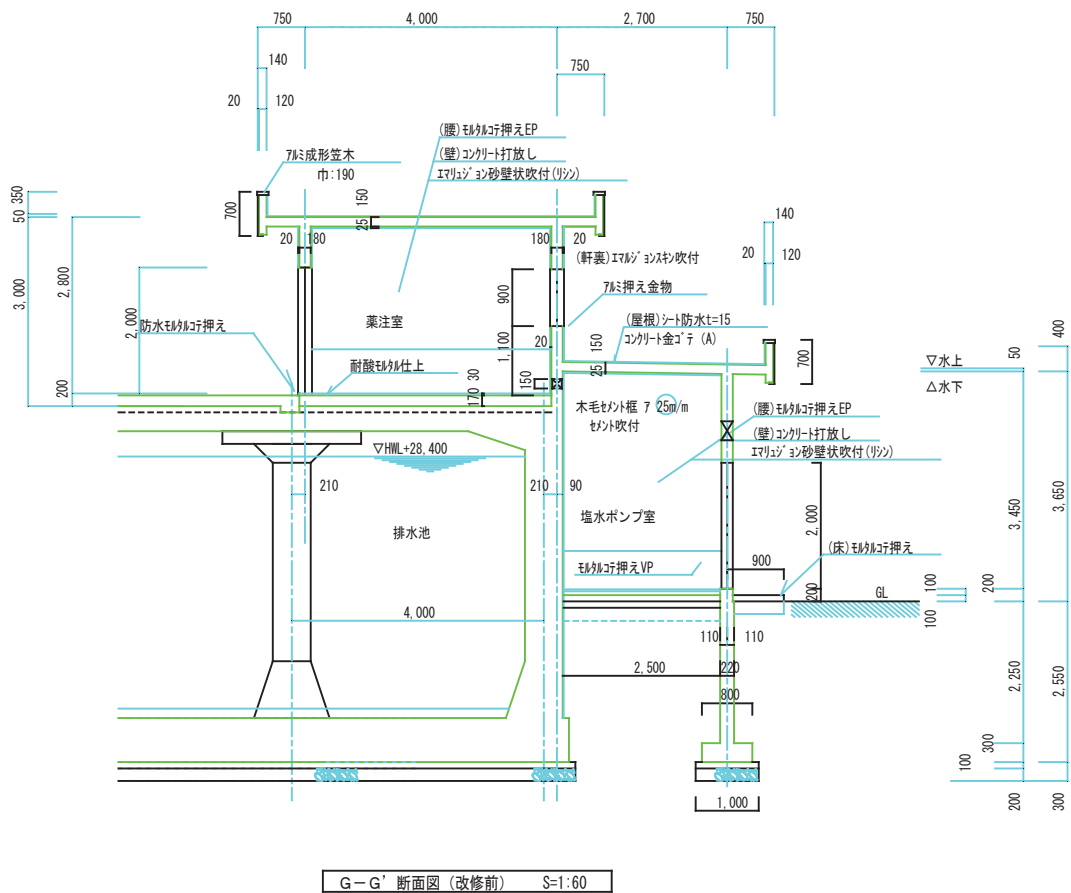
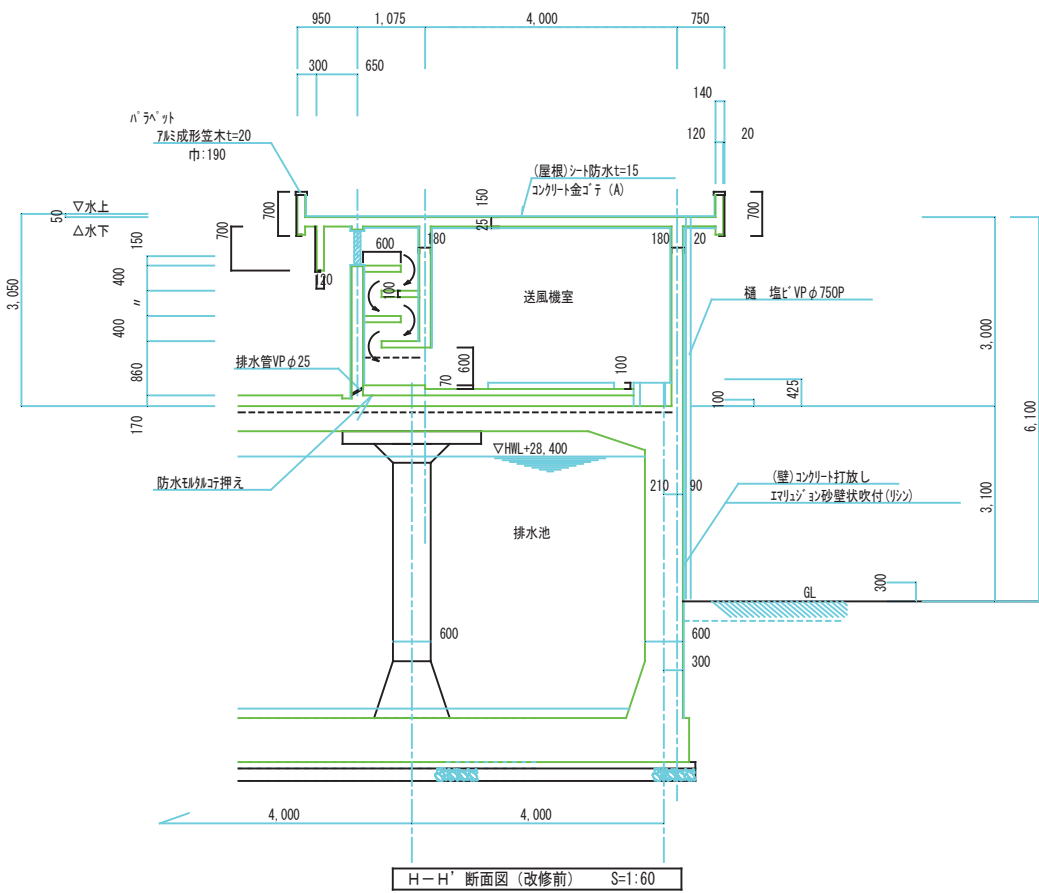


外壁改修
ひび割れ部改修 Uカドシ-1充填 浮き部改修 アカセ-1コング樹脂注入
注入口付部分球*樹脂 16穴/m²
外壁洗浄 高圧洗浄 (30~50Mpa)
外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリ-1(C-1)
シーリング 変性シリコン(MS-2) 20*10
軒天塗替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリ-1(C-1)
軒天下地調整 高圧洗浄(30~50Mpa)

配水池 内部防水 (一部分)
既設塗膜・劣化部除去 超高圧水洗浄 150Mpa以上
コンクリ-1爆裂部補修 壁・天井
断面修復
内面防食塗装
ひび割れ補修
配管塗装

改修内容及び参考数量 (全体)				
防水改修				
内部防水 配水池				
内面防食塗装工事				
既設塗膜・劣化部除去工	超高圧水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	m ²	
コンクリ-1爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	箇所	
断面修復工	縦横補強型超硬性ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	m ²	
ひび割れ	0.2mm以上~1.0mm未満	32.5	m	
内面防食塗装工	JWWA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	m ²	
配管塗装工	JWWA K157適合塗料 配置付着物除去、3種ケレン、塗替塗装	1.0	式	
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	ヵ月	
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式	
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式	
外部防水 配水池				
屋上防水改修				
平場 ケレン塗膜防水	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	m ²	
立上り ケレン塗膜防水	X-2工法	83.4	m ²	
防水押え金物	7本37mmトバー	80.6	m	
高圧洗浄	20MPa	472.0	m ²	
下地調整材塗布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む	472.0	m ²	
改修用ドレイン	100φ	3.0	ヶ所	
改修用ドレイン	75φ	3.0	ヶ所	
縦樋	100φ	9.8	m	
縦樋	75φ	15.2	m	
撤去工事				
既設防水シート撤去	平場、立上	58.5	m ²	
縦樋撤去	100φ 75φ	15.5	m	
ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所	
外壁改修 配水池				
施工数量調査	外壁面積	340.0	m ²	
外壁洗浄	高圧洗浄(30~50Mpa)	340.0	m ²	
ひび割れ部改修	Uカドシ-1充填	113.0	m	
欠損部改修				
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリ-1(C-1)	340.0	m ²	

工事名		水浜水源池建築施設改修工事			
図面名称		配水池：断面図5【改修前・改修後】			
縮 尺		S = 1:60			
図面番号		A-22		整理番号	—
設計年月日		令和 7 年 6 月 日			
完成年月日		令和 年 月 日			
米子市上下水道局浄水課					

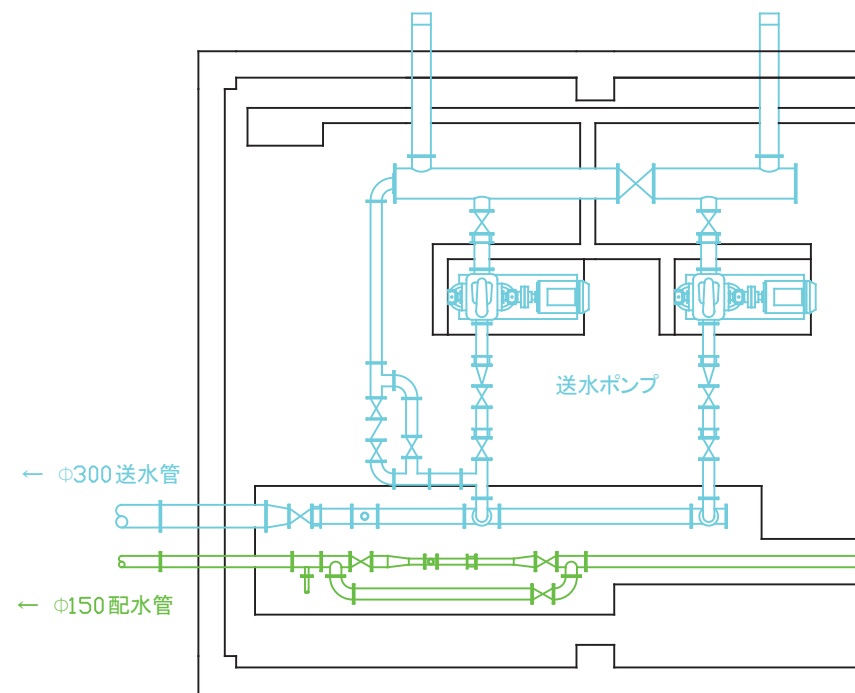


外壁改修
ひび割れ部改修 Uカット・充填 浮き部改修 フォーミング樹脂注入
注入口部分球杉樹脂 16穴/㎡
外壁洗浄 高圧洗浄 (30～50Mpa)
外壁仕上げ 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(G-1)
シーリング 変性シリコン(MS-2) 20×10
軒天塗装替え 吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(G-1)
軒天下地調整 高圧洗浄 (30～50Mpa)
配水池 内部防水 (一部部分)
既設塗膜・劣化部除去 超高圧水洗浄 150Mpa以上
コンクリート爆裂部補修 壁・天井
断面修復
内面防食塗装
ひび割れ補修
配管塗装

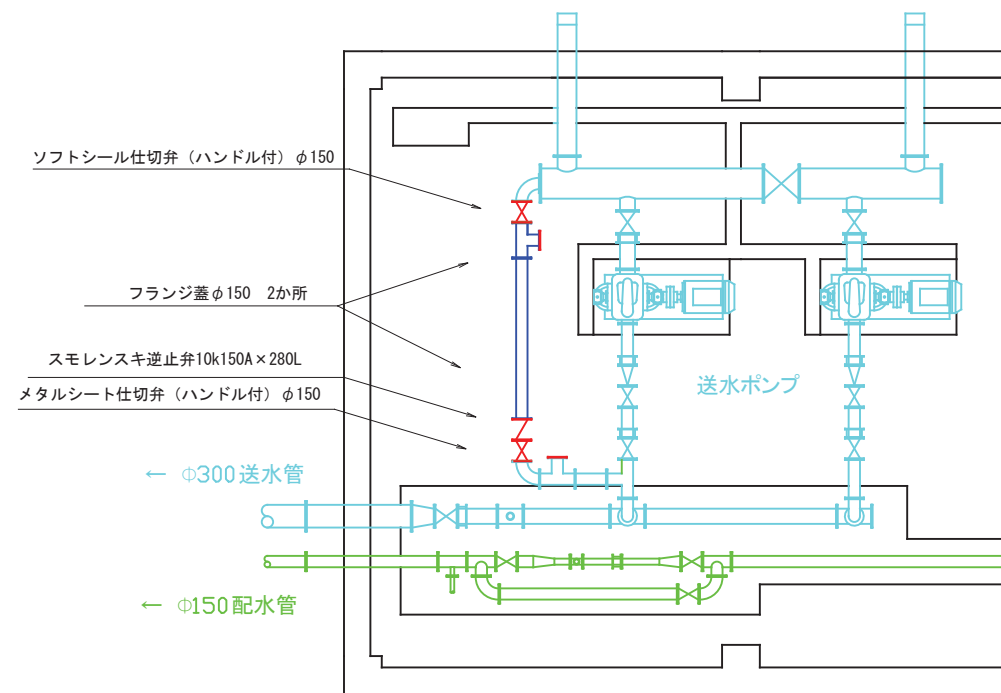
改修内容及び参考数量 (全体)			
防水改修			
内部防水 配水池			
内面防食塗装工事			
既設塗膜・劣化部除去工	超高圧水洗浄 150MPa以上 t=5mm	1,657.0	㎡
コンクリート爆裂部補修工	100mm×100mm×t=30mm (壁部)	2.0	個所
断面修復工	縦横補強型超速硬化性ポリマーセメントモルタル t=5mm	1,657.0	㎡
ひび割れ	0.2mm以上～1.0mm未満	32.5	m
内面防食塗装工	JWMA K143適合 エポキシ樹脂塗料 吹付け	1,657.0	㎡
配管塗装工	JWMA K157適合塗料 配置付着物除去、3種ケレン、塗替塗装	1.0	式
養生対策費	送風機設置 6台	3.0	ヵ月
変状調査	施工前クラック等調査	1.0	式
完成検査対策費	建研式引張検査、塗膜厚確認	1.0	式
外部防水 配水池			
屋上防水改修			
平場	X-1工法 (脱気筒含む)	389.0	㎡
ケレン塗膜防水	X-2工法	83.4	㎡
立上り			
ケレン塗膜防水			
防水押え金物	7k37ワットバー	80.6	m
高圧洗浄	20MPa	472.0	㎡
下地調整材塗布 (仮防水材兼用)	t=1.0mm 仮防水 目地処理含む	472.0	㎡
改修用ドレイン	100φ	3.0	ヶ所
改修用ドレイン	75φ	3.0	ヶ所
縦樋	100φ	9.8	m
縦樋	75φ	15.2	m
撤去工事			
既設防水シート撤去	平場、立上	58.5	㎡
縦樋撤去	100φ 75φ	15.5	m
ドレイン撤去	100φ 75φ	6.0	ヶ所
外壁改修 配水池			
施工数量調査	外壁面積	340.0	㎡
外壁洗浄	高圧洗浄 (30～50Mpa)	340.0	㎡
ひび割れ部改修	Uカット・充填	113.0	m
欠損部改修			
外壁仕上げ	吹付仕上げ 下地調整 防水形複層塗材E コンクリート(G-1)	340.0	㎡

工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	配水池：断面図G【改修前・改修後】		
縮尺	S = 1:60		
図面番号	A-23	整理番号	-
設計年月日	令和 7 年 6 月 日		
完成年月日	令和 年 月 日		
米子市上下水道局浄水課			

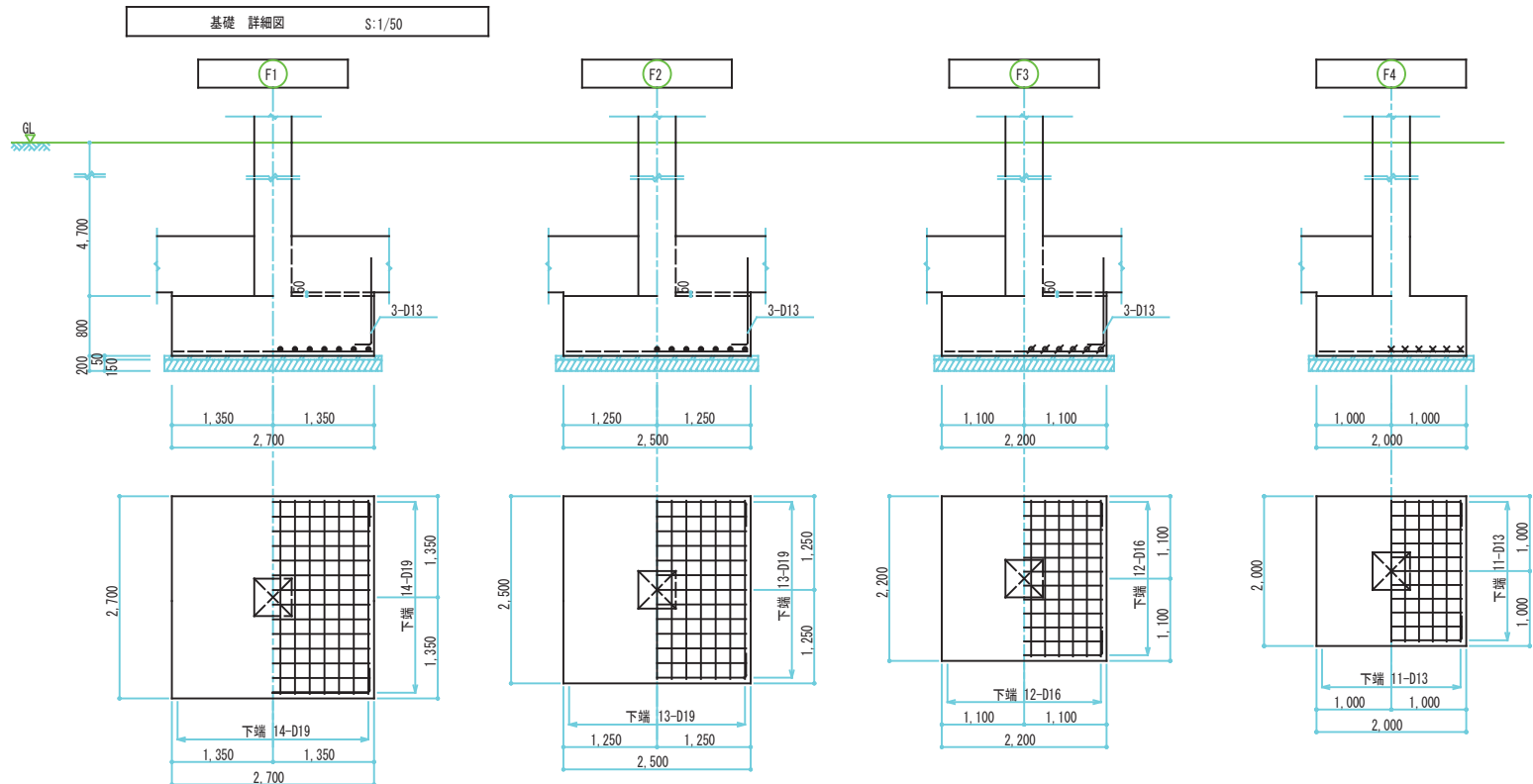
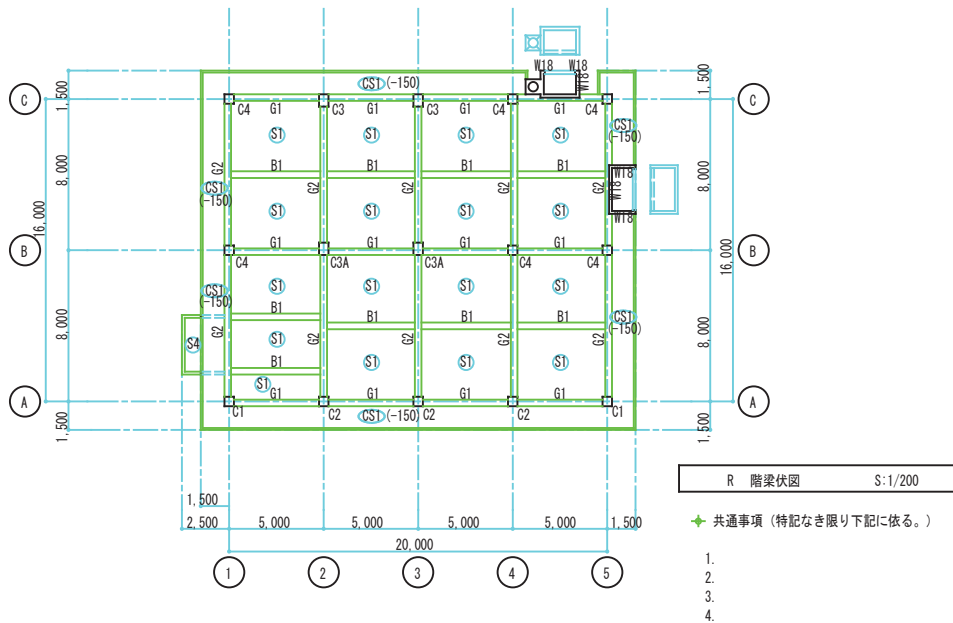
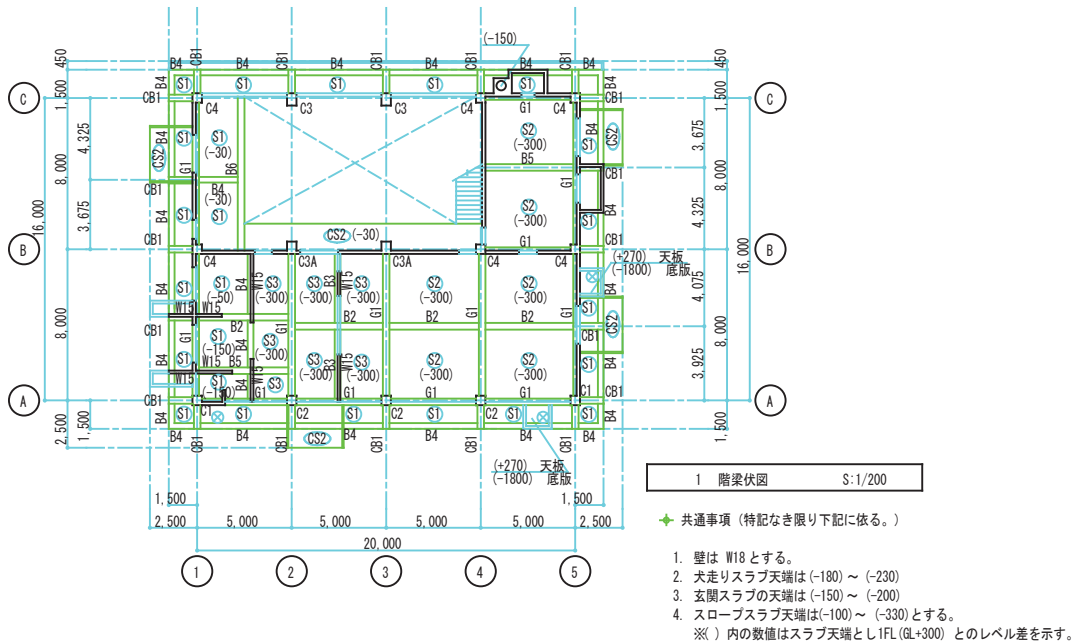
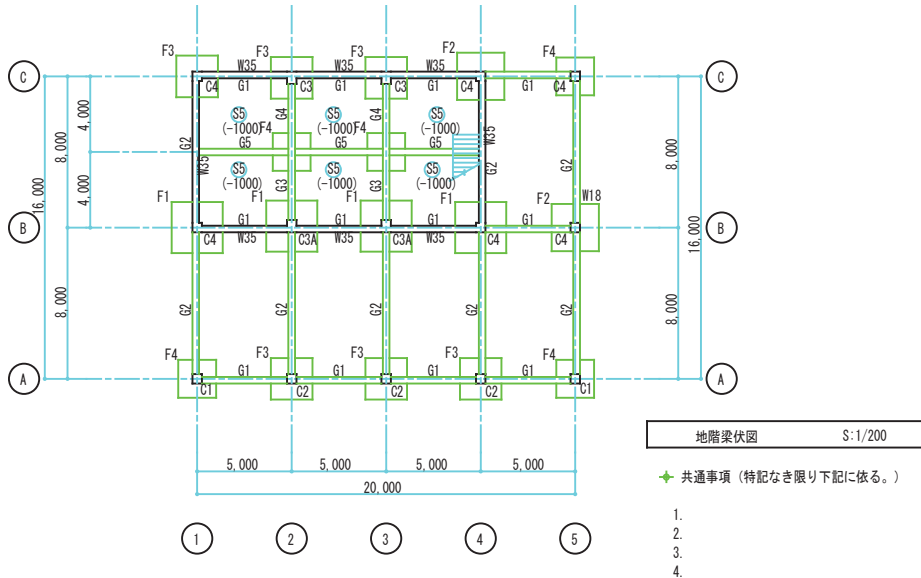
ポンプ室平面図（改修前） S=1:200



ポンプ室平面図（改修後） S=1:200



工事名	水浜水源池建築施設改修工事			
図面名称	ポンプ室：送水管詳細【改修前・改修後】			
縮 尺	S = 1:200			
図面番号	A-24	整理番号	—	
設計年月日	令和 7 年 6 月		日	
完成年月日	令和 年 月		日	
米子市上下水道局浄水課				



地中梁断面リスト		S : 1 / 5 0												
		1. 巾止メ筋は、D 1 0 - @ 1,000 以内とする												
符 号	G1	G2			G3			G4	G5			G6		
位 置	全断面	A・C端部	中央部	B端部	B端部	中央部	他端部	全断面	1　・　4　端部	中央部	2　・　3　端部	両端部	中央部	
														
B × D	350 ×750	350 ×800			350 ×800			350 ×800	350 ×800			350 ×800		
上端筋	3-D 22	3-D 22	3-D 22	5-D 22	3-D 22	3-D 22	5-D 22	5-D 22	3-D 22	3-D 22	6-D 22	5-D 22	3-D 22	
下端筋	3-D 22	3-D 22	3-D 22	4-D 22	3-D 22	3-D 22	3-D 22	4-D 22	3-D 22	3-D 22	5-D 22	3-D 22	5-D 22	
肋　筋	D10 - @ 200	D10 - @ 200			D10 - @ 200			D10 - @ 200	D10 - @ 200			D10 - @ 200		
腹　筋	2-D 10	2-D 10			2-D 10			2-D 10	2-D 10			2-D 10		

壁 断面リスト		S : 1 / 5 0												
		1. 巾止メ筋は、タテ・ヨコ共 D 1 0 - @ 1, 0 0 0 とする。												

符号	W15	W18	W35
断面			
壁厚	150	180	350
タテ筋	D10-250(TW)	D10-150(W)	D13・D16-200(W)
ヨコ筋	D10-250(TW)	D10-150(W)	D13・D16-200(W)
開口補強筋	タテ筋	2-D13(S)	2-D13(S)
	ヨコ筋	2-D13(S)	2-D13(S)
	斜め筋	1-D13(S)	2-D13(S)

工事名	水浜水源池建築施設改修工事				
図面名称	管理棟：床梁伏図・基礎図				
縮 尺	S = 1:50、1:200				
図面番号	KS-1	整理番号	一		
設計年月日	令和 7 年 6 月 日				
完成年月日	令和 年 月 日				
米子市上下水道局浄水課					

柱 断面リスト S : 1 / 3 0

1. 柱梁 接合部HOOP D13-@150 とする。
2. ダイヤ筋は、3 箇所 X D13 とする。

階	符 号	C1	C2	C3	C3 A	C4
1F	断 面					
	B × D	500 ×500	500 ×500	500 ×650	500 ×650	500 ×500
	主 筋	12 -D 22	18 -D 22	10 -D 22	14 -D 22	8 -D 22
	HOOP	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100
B1F	断 面					
	B × D	500 ×500	500 ×500	500 ×650	500 ×650	500 ×500
	主 筋	12 -D 22	18 -D 22	14 -D 22	22 -D 22	8 -D 22
	HOOP	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100	□-D 13 -@ 100

床版 断面リスト

符 号	版 厚	位 置	短辺方向		長辺方向		備 考
			端部	中央	端部	中央	
S1	150	上端筋	D10 ・D13-@200		D10-@200		モチアミ配筋
		下端筋	D10-@200		D10-@200		
S2	250	上端筋	D13-@200		D10 ・D13-@200		モチアミ配筋
		下端筋	D10 ・D13-@200		D10-@200		
S3	250	上端筋	D10 ・D13-@200		D10 ・D13-@200		モチアミ配筋
		下端筋	D10-@200		D10-@200		
S4	150	上端筋	D10 ・D13-@200		D10 ・D13-@200		モチアミ配筋
		下端筋	D10-@200		D10-@200		
S5	300	上端筋	D13-@150		D13-@200		モチアミ配筋
		下端筋	D13-@150		D13-@200		
CS1	150	上端筋	D13-@200		D10-@200		モチアミ配筋片持ちスラブ
		下端筋	D10-@200		D10-@200		
CS2	150	上端筋	D13-@150		D10-@200		モチアミ配筋片持ちスラブ
		下端筋	D10-@150		D10-@200		

大梁 断面リスト S : 1 / 3 0

1. 巾止メ筋は、D10-@1,000以内とする

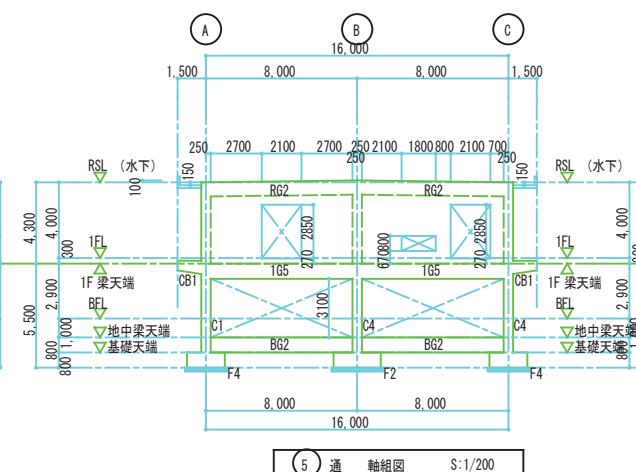
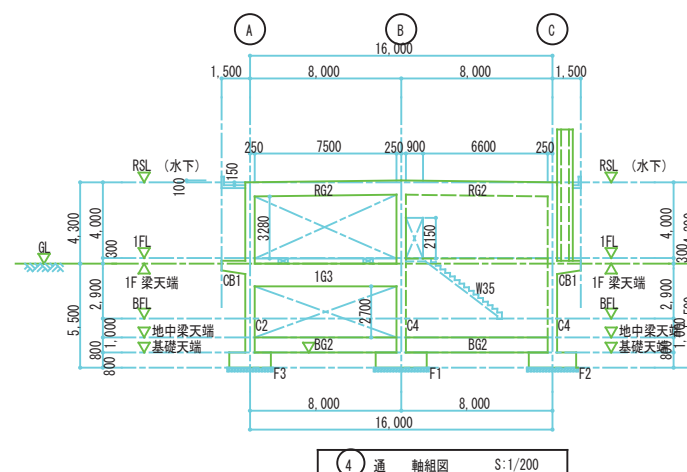
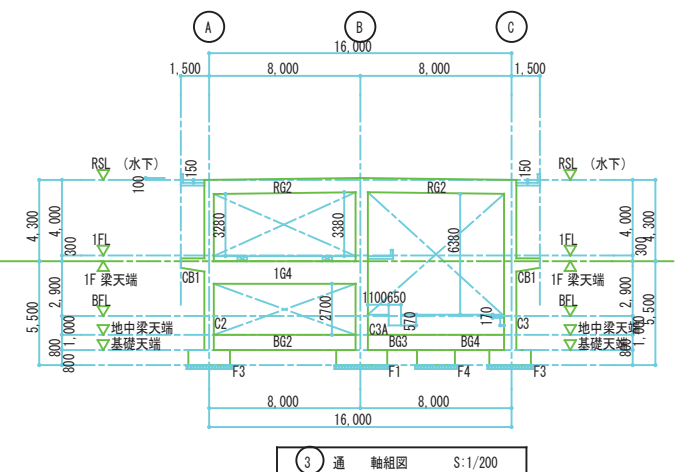
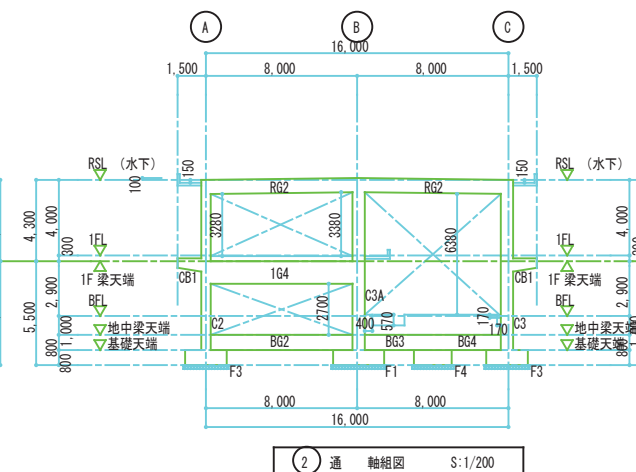
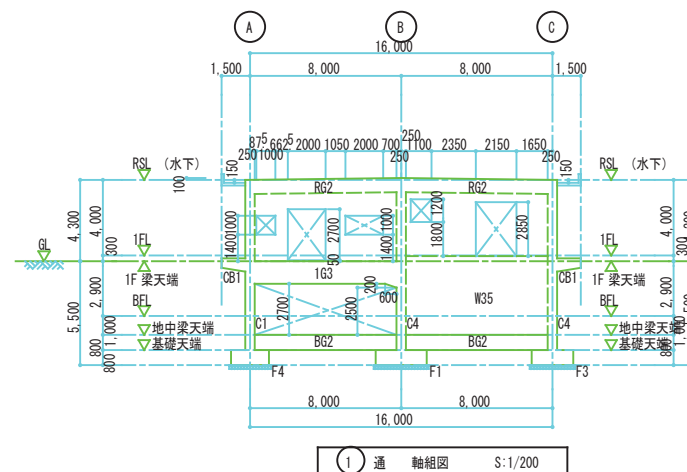
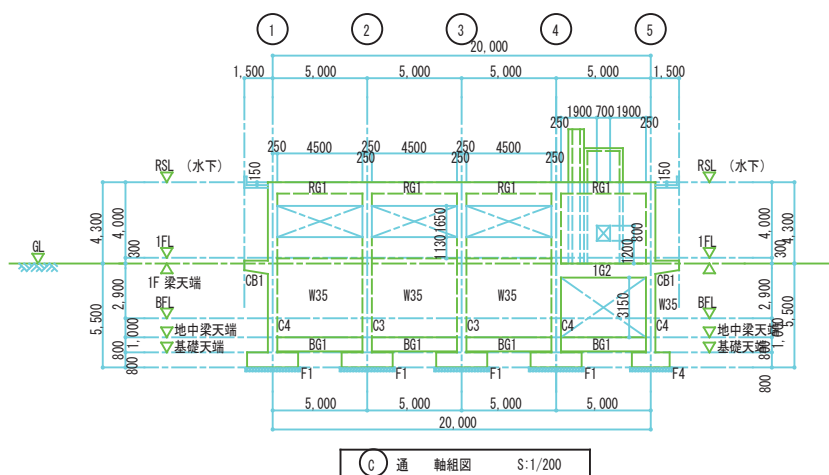
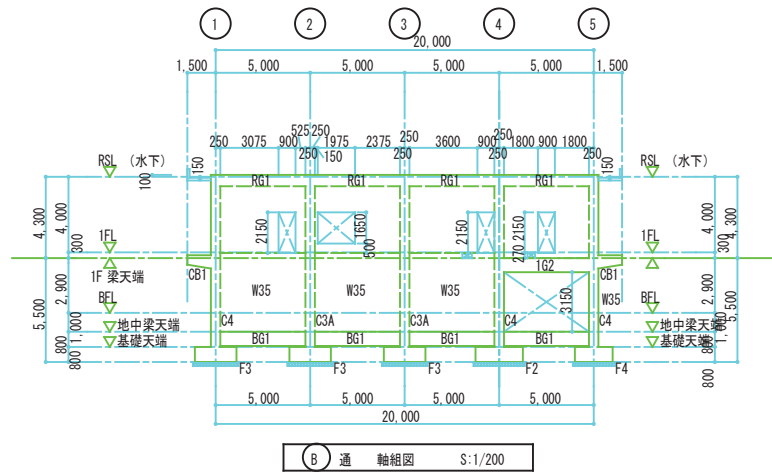
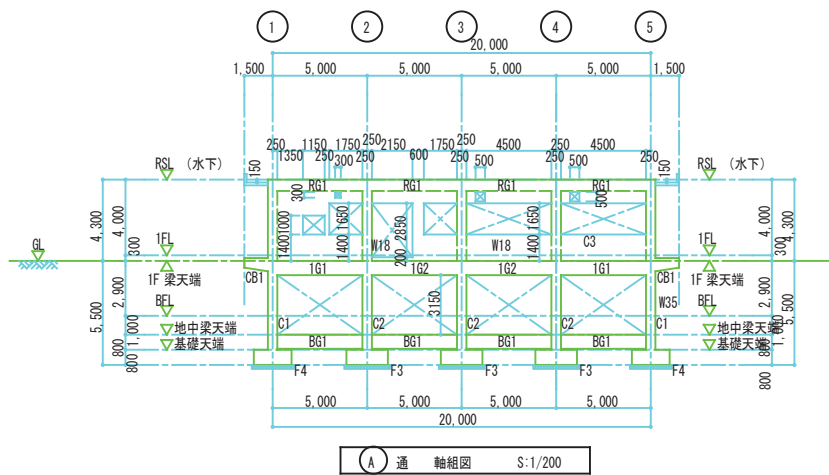
階	符 号	G1			G2			G3			G4		G5			
RF	位 置	全断面			A・C端部	中央部	B端部									
	断 面															
	B×D	350 ×600			350 ×750											
	上端筋	3-D 22			4-D 22	3-D 22	5-D 22									
	下端筋	3-D 22			3-D 22	4-D 22	3-D 22									
	肋 筋	D 10 -@ 200			D 10 -@ 200											
	腹 筋	2-D 10			2-D 10											
1F	位 置	1 ・ 5 端部	中央部	2 ・ 4 端部	全断面			A端部	中央部	B端部	両端部	中央部	C ・ A 端部	中央部	B端部	
	断 面															
	B×D	350 ×750			350 ×750			350 ×1,200	350 ×1,200	350 ×1,400	350 ×1,200		350 ×800			
	上端筋	4-D 22	3-D 22	3-D 22	3-D 22			5-D 22	5-D 22	8-D 22	6-D 22	4-D 22	3-D 22	3-D 22	5-D 22	
	下端筋	3-D 22	3-D 22	3-D 22	3-D 22			5-D 22	8-D 22	5-D 22	4-D 22	8-D 22	3-D 22	3-D 22	4-D 22	
	肋 筋	D 10 -@ 200			D 10 -@ 200			D 13 -@ 200			D 13 -@ 200		D 10 -@ 200			
	腹 筋	2-D 10			2-D 10			4-D 10			4-D 10		2-D 10			

小梁 断面リスト S : 1 / 3 0

1. 巾止メ筋は、D10-@1,000 以内とする

符 号	B1	B2		B3			B4
位 置	全断面	両端部	中央部	外端部	中央部	内端部	全断面
断 面							
B × D	350 ×500	350 ×700		300 ×500			300 ×500
上端筋	3 -D 19	6 -D 19	3 -D 19	3 -D 19	3 -D 19	4 -D 19	3 -D 19
下端筋	3 -D 19	5 -D 19	6 -D 19	3 -D 19	5 -D 19	4 -D 19	3 -D 19
肋 筋	D 10 -@ 200	D 10 -@ 200		D 10 -@ 200			D 10 -@ 200
腹 筋	—	2 -D 10		—			—
符 号	B5		cB1	B6			
位 置	両端部	中央部	内端部	先端部	両端部	中央部	
断 面							
B × D	350 ×700		350 ×700	350 ×500	350 ×800		
上端筋	4 -D 19	4 -D 19	4 -D 19	4 -D 19	3 -D 19	3 -D 19	
下端筋	3 -D 19	6 -D 19	3 -D 19	3 -D 19	3 -D 19	6 -D 19	
肋 筋	D 10 -@ 200		D 10 -@ 200		D 10 -@ 200		
腹 筋	2 -D 10		2 -D 10		2 -D 10		

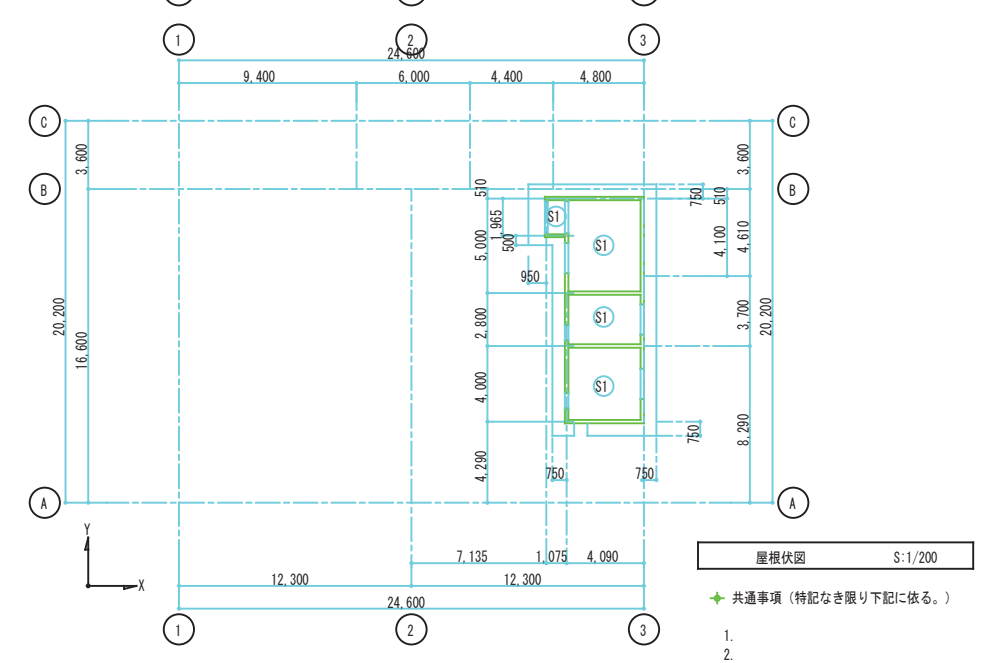
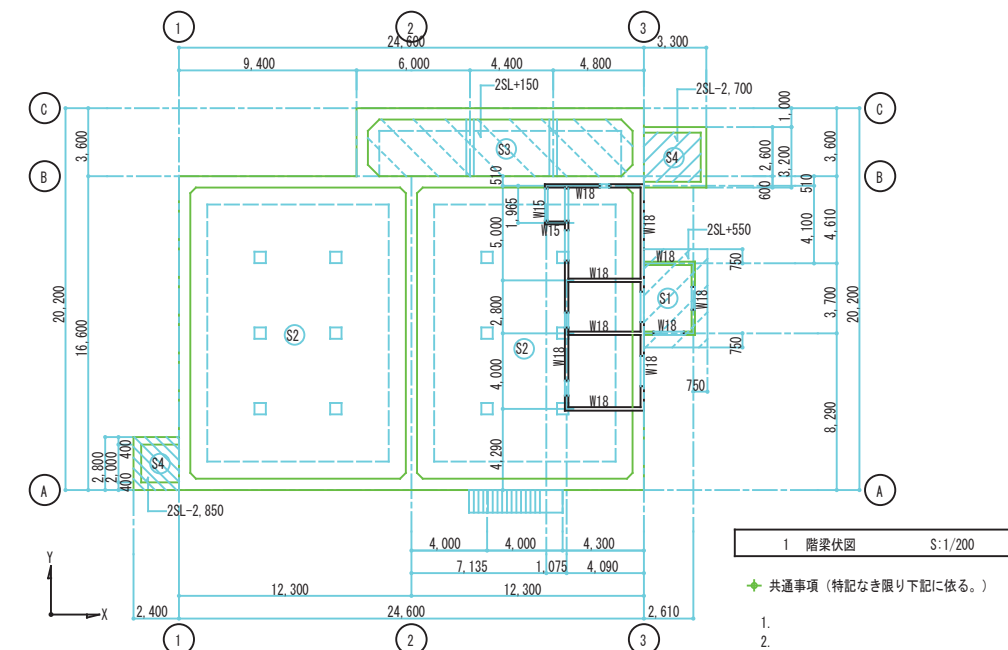
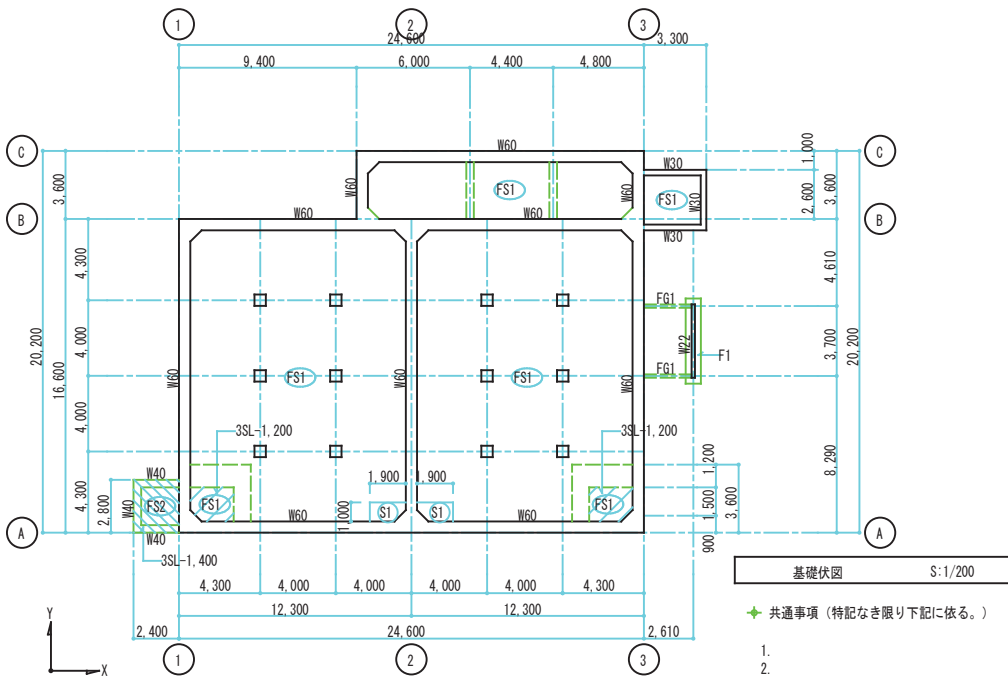
工事名	水浜水源池建築施設改修工事		
図面名称	管理棟：断面リスト		
縮 尺	S = 1:30		
図面番号	KS-2	整理番号	—
設計年月日	令和 7 年 6 月 日		
完成年月日	令和 年 月 日		
米子市上下水道局浄水課			



1. 壁厚W:18
- 2.
- 3.

1. 壁厚W18
- 2.
- 3.

工事名称				水浜水源地建築施設改修工事			
図面名称		管理棟：軸組図					
縮 尺		S = 1:200					
図面番号		KS-3		整理番号		—	
設計年月日			令和 7 年		6 月		日
完成年月日			令和 年		月		日
米子市下水道局浄水課							



床版 断面リスト

符 号	版 厚	位 置	短辺方向		長辺方向		備 考
			端部	中央	端部	中央	
S1	150	上端筋	D10-@200		D10-@200		モチアミ配筋
		下端筋	D10-@200		D10-@200		
S2	350	上端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		モチアミ配筋
		下端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		
S3	350	上端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		モチアミ配筋
		下端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		
S4	250	上端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		モチアミ配筋
		下端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		
FS1	700	上端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		モチアミ配筋
		下端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		
FS2	500	上端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		モチアミ配筋
		下端筋	配筋詳細図参照		配筋詳細図参照		

壁 断面リスト S : 1 / 4 0

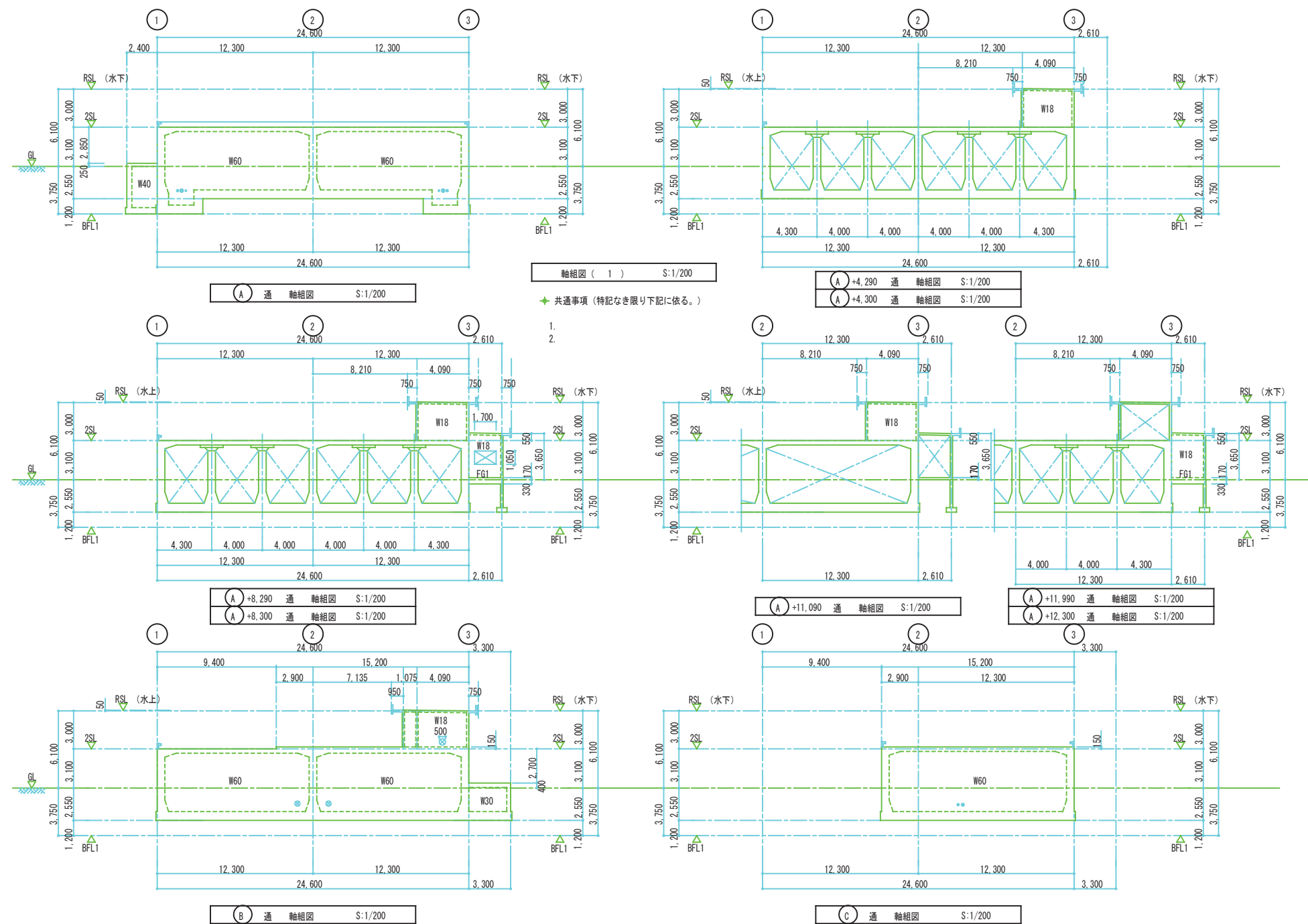
1. 巾止メ筋は、タテ・ヨコ鉄10ー@800 とする。

符 号	W15	W18	W22	W30	W40	W60
断 面						
	150	180	220	300	400	600
	壁 厚	150	180	220	300	400
	タテ筋	D10-200 (W)	D10-200 (W)	D10-200 (W)	配筋詳細図参照	配筋詳細図参照
開口 補強筋	ヨコ筋	D10-200 (W)	D10-200 (W)	D10-200 (W)	配筋詳細図参照	配筋詳細図参照
	タテ筋	2-D13 (S)	2-D13 (S)	-	-	-
	ヨコ筋	2-D13 (S)	2-D13 (S)	-	-	-
	斜め筋	2-D13 (S)	2-D13 (S)	-	-	-

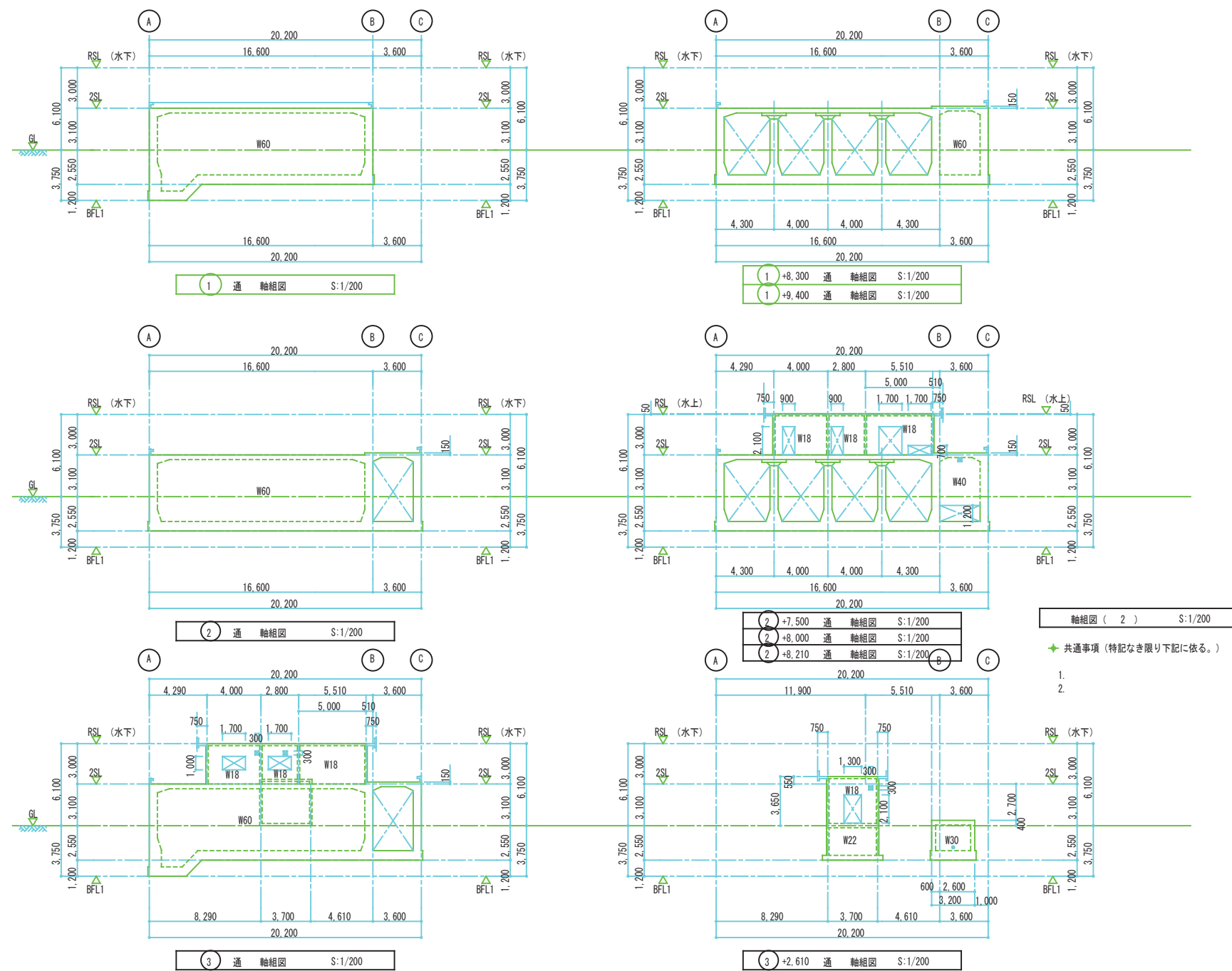
地中梁断面リスト S : 1 / 4 0

符 号	F61	
位 置	全断面	
断 面		
	B x D	300 x 500
	上端筋	3-D 16
	下端筋	3-D 16
肋 筋	D 10 -@ 200	
腹 筋	—	

工事名	水浜水源地建築施設改修工事		
図面名称	配水池：各伏図・断面リスト		
縮 尺	S = 1:40、1:200		
図面番号	HS-1	整理番号	—
設計年月日	令和 7 年	6 月	日
完成年月日	令和 年	月	日
米 子 市 上 下 水 道 局 浄 水 課			



工事名	水浜水源池建築施設改修工事				
図面名称	配水池：軸組図 1				
縮 尺	S = 1:200				
図面番号	HS-2		整理番号	—	
設計年月日	令和 7 年 6 月 日				
完成年月日	令和 年 月 日				
米子市上下水道局浄水課					



工事名	水浜水源池建築施設改修工事			
図面名称	配水池：軸組図 2			
縮 尺	S = 1:200			
図面番号	HS-3	整理番号	—	
設計年月日	令和 7 年 6 月 日			
完成年月日	令和 年 月 日			
米子市上下水道局浄水課				